

# 中国理解のためのメモ

《2005年8月版》



僅か2晩で作られた中国農業科学院前の庭

中国農業科学院 日中農業技術研究開発センター

(前)プロジェクト首席顧問 石谷孝佑

《 [ishitani@chikaku-no-inaka.or.jp](mailto:ishitani@chikaku-no-inaka.or.jp) 》

(元)農林水産省・国際農林水産業研究センター  
食品総合研究所、農業研究センター、東北農研

中国農業大学 客員教授

日本食品包装研究協会 会長

日本は、これまでの長い歴史の中で中国から多くのことを学んできた。それ故、日本と中国は文化的に多くの共通点を持っている。しかし、社会状況、ものの考え方などはその両極にあるとも言える。

昨年（04年）中国は日本にとって最大の貿易相手国になり、経済的な相互依存を深めつつある現在、日中の相互理解は極めて重要であり、そのためにもお互いの違いを先ず理解することが必要である。また、日本の国際化にとっても、中国を異文化・多文化の外国として認識し、その上で相互に理解を深めることが重要である。

日本人は意外に中国そのものを知らない。中国に行き美しい景色と古い建物を見て、美味しいものを食べて帰るだけの日本人観光客や、中国に経済活動だけに行く職人的商売人の日本人や、戦争の贖罪に行く退職技術者が多い。中国のテレビは、日中戦争の映画を多く放送し、日本の現状や日常をほとんど紹介しないので、大部分の中国人も日本の真の姿を知らない。日中の相互理解のためには、もっと個人レベルの文化的な交流が必要である。

最近、政治面での不協和音などから好ましくない印象を持つ人が日中双方で多くなっていることは大変残念である。世界に対して大きな影響力を持っている隣国同士がお互いの友好を深めていく努力が必要である。

中国における反日運動を契機に、ひたすら物言わぬ日本から、日本の中で歴史認識に対する関心が高まり、中国の国内問題についても「物言う日本」に変わりつつあるような気配がある。

政治の不協和音は関係国に損害をもたらすだけであり、これを知恵で克服し、日中韓で相互に話し合う機運が生まれてくることを期待したい。

## 《目 次》

表 紙	1
前書き	2
目 次	3
1. 一口では言えない「中国という国」	5
2. 中国の地域区分と省・市・自治区の姿	5
3. 中国のこれまでの経済発展 (追加)	7
4. 中国 2004 年の主要経済データ	9
5. 中国の経済発展に伴う大問題	10
6. 第 10 次 5 ヵ年計画(2001 年～2005 年)	11
7. 中国は巨大な農業国	12
8. 中国の青果物輸入の変遷	13
9. 中国の食品工業	13
10. 中国式産業振興策	14
11. 中国の知的所有権 (新規)	15
12. 中国の食事と日本の食事の比較	15
13. 中国の食形態の特徴	15
14. 食および食品の問題点	16
15. 緑色食品・有機食品などの安心農産物	16
16. 農業問題のキーワードと農業発展の制約要因	17
17. 中国の独立法人研究機関	18
18. 中国の学術情報の入手経路 (新規)	18
19. 日本社会とは全く異なる中国社会	18
20. 中国人の「日本と日本人」のイメージ	21
21. 北京市の水不足、電力不足	22
22. 中国各地域の「人の気質」等の比較	22
23. 中国の社会階層	23
24. 中国・北京の社会現象	24
25. 中国のトイレ事情	25

26.	北京の物価と給与など	25
27.	車を巡る事情 (追加)	26
28.	世界の自動車産業の縮図・中国 (新規)	26
29.	中国社会の付き合い方	27
30.	若返る中国	27
31.	中国の21世紀の課題	27
32.	中国ビジネスメモ	28
33.	北京の今・昔	30
34.	日本人にとっての「驚きの常識」 (追加)	31
35.	サーズに見る中国・北京	32
36.	《中国人度テスト》	33
37.	《中・日・欧にみる組織の行動様式のタイプ》 (新規)	35

## 1. 一口では言えない「中国という国」

(1) 「一衣帯水」の隣国、過去に多くの生活文化を学んだ世界的文明・文化の発信地  
文字と言葉(漢語と発音)、宗教(仏教と儒教)、暦と行事(陰暦、節句、干支等)、芸術(毛筆、水墨画、楽器)、衣服、食べ物(発酵調味料、豆腐・納豆、飯寿司、お茶)、稲・麦・大豆・白菜等の作物、古代建築・都市建設、紙・火薬・羅針盤、漢方薬・針灸など

(2) 面積は日本の**26倍**、ロシア・カナダに次いで**世界第3位**、アメリカより広い。面積は東西ヨーロッパに匹敵、人口は約**13億人(2005.1.6に達したとしている)**河南省1省で人口1億人超、敦煌のある面積第5位の甘粛省でも日本より広い。人口は日本の**10倍**、米の生産も10倍の1億トン、小麦は約1億トで世界の1/4を生産、トウモロコシは2億トンで穀類の稼ぎ頭世界の「5人に1人は中国人」の巨大世界であり、全てに極めて多様な世界

### (3) 地域の多様性

地方によって大きく異なる気候風土、異なる食生活、北は小麦・南は米の主食互いに意思疎通が困難な異なる言語、若い世代では普通話(標準語)が普及多様な**56の民族**、朝鮮族もモンゴル族もウイグル族もタイ族もロシア族も中国の少数民族。大和族(日本)は含まれていないが一つ位増えても良いという。寒暖の激しい乾いた北方、湿潤・温暖で水の多い南方、砂漠・草原の多い西部

### (4) 貧富の格差

豊かになった東側の沿海部と貧しい西側の内陸部、豊かな都市と貧しい農村東・西の平均収入に1対7以上(2000年)の大きな開き

東・西、都市・農村で異なる生活環境、経済条件、道路などのインフラ条件

(5) 貴州省の一人当たり平均年収は、世界最貧国のバングラデシュとほぼ同じ最貧・貴州省の平均年収は、北京の8分の1、上海の13分の1(2000年)日本の最貧県・沖縄県の平均年収は東京都の約70%で、差は遙かに小さい。中国全体では2003年に1人当たりの平均年収が1000ドルを超えた。

中国は、日本が最も多くのODAを供与している国(02年828.71百万ドル)

### (6) 世界遺産

山のようにある**中国の世界遺産**と世界遺産候補、中国の世界遺産は04年に2つ増えて30カ所になった。

北京市の「万里の長城」「故宮」「天壇」「頤和園」、山東省の「泰山」、安徽省の「黄山」、陝西省西安市の「秦の兵馬俑」、四川省の「九寨溝・黄龙」、甘粛省・シルクロードの「敦煌」、雲南省の「麗江古城」、チベットの「ポタラ宮」など

## 2. 中国の地域区分と省・市・自治区の姿

### (1) 第一世界と第二世界で3億人

第三世界と第四世界で10億人

第一世界(沿海都市) 先進地域 上海・北京・香港・深圳・広州

第二世界(沿海地域) 中進地域

遼寧・河北・天津・山東・江蘇・浙江・福建・広東

第三世界(中部地域) 発展途上地域

黒竜江・吉林・内モンゴ・山西・河南・安徽・江西・湖北・湖南・広西・海南

第四世界(西部地域) 貧困地域

陝西・甘粛・寧夏・四川・重慶・貴州・雲南・新疆・青海・西藏

# 中国の先進地域



## (2) 最も一般的な地域区分

- ①東北区 黒龍江省、吉林省、遼寧省
- ②華北区 北京市、天津市、河北省、河南省、山東省、山西省、陝西省
- ③華中区 上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、江西省、湖北省、湖南省
- ④華南区 福建省、広東省、広西チワン族自治区、海南省
- ⑤西南区 四川省、重慶市、雲南省、貴州省
- ⑥西部区 内蒙古自治区、寧夏回族自治区、甘肅省、青海省、チベット自治区、新疆ウイグル自治区

## (3) 省・市・自治区の特徴 (中国の人口は1.3億人、日本の面積は37万k㎡)

- ・人口の多い省(2000年) ①河南省(9600万人、現在1億人超)、②山東省(9080万人)、③広東省(8640万人)、④四川省(8330万人)、⑤江蘇省(7440万人)、⑥河北省(6740万人)、⑦湖南省(6440万人)、⑧湖北省(6030万人)、⑨安徽省(5990万人)
- ・人口の少ない省等 ①チベット自治区(260万人)、②青海省(520万人)、③寧夏回族自治区(560万人)、④海南省(790万人)、⑤天津市(1000万人)、⑥北京市(1380万人)
- ・面積の大きい省等 ①新疆ウイグル自治区(166万k㎡)、②チベット自治区(120万k㎡)、③内蒙古自治区(118万k㎡)、④青海省(72万k㎡)、⑤甘肅省(45万k㎡)、⑥四川省(41万k㎡)

- **面積の小さい省等** ①上海市(0.62 万 k m<sup>2</sup>)、②天津市(1.13 k m<sup>2</sup>)、③北京市(1.7 k m<sup>2</sup>)、④海南省(3.39k m<sup>2</sup>)、⑤台湾省(3.6k m<sup>2</sup>)、⑥寧夏回族自治区(6.64k m<sup>2</sup>)、⑦重慶市(8.2k m<sup>2</sup>)⑧浙江省(10.18 k m<sup>2</sup>)、⑨江蘇省(10.26 k m<sup>2</sup>)
- **市の面積** ①上海市は大坂府+京都府、②北京市は北関東(千葉・茨城・栃木)③重慶市は日本の東北6県+新潟県・長野県(人口3600万人)
- **省別 GDP 上位ランキング(2000年)** ①広東省、②江蘇省、③山東省、④浙江省、⑤河北省、⑥河南省、⑦上海市
- **省別 GDP 下位ランキング(2000年)** ①チベット自治区、②寧夏回族自治区、③青海省、④海南省、⑤甘肅省、⑥貴州省、⑦新疆ウイグル自治区
- **一人当たり GDP 上位ランキング(2000年)** ①上海市、②北京市、③山東省、④浙江省、⑤広東省、⑥江蘇省
- **一人当たり GDP 下位ランキング(2000年)** ①貴州省、②甘肅省、③陝西省、④チベット自治区、⑤雲南省、⑥四川省

#### (4) 日本との姉妹都市関係・・・東北部、沿海部に集中する姉妹都市関係

- ①北京市：東京都(首都)、②陝西省：京都府(古都)・新潟県・香川県、③黒竜江省：北海道(最北)・山形県・新潟県、④吉林省：宮城県・新潟県・島根県、⑤遼寧省：神奈川県・富山県、⑥河北省：長野県・鳥取県、⑦山西省：埼玉県、⑧山東省：和歌山県・山口県、⑨河南省：三重県、⑩上海市：大坂府・市(経済都市)・長崎県・横浜市、⑪江蘇省：愛知県・静岡県・鹿児島県、⑫浙江省：栃木県・福井県・静岡県、⑬安徽省：高知県、⑭江西省：岐阜県・岡山県、⑮湖南省：滋賀県(大きな湖)、⑯福建省：沖縄県(隣国土の古い付き合い)・長崎県、⑰広東省：兵庫県・徳島県、⑱広西省：熊本県、⑳海南省：兵庫県、㉑四川省：広島県・山梨県、㉒重慶市：広島県・水戸市、(21)寧夏：島根県、(22)甘肅省：秋田県
- **姉妹都市関係のない省等** 雲南省、貴州省、内蒙古自治区、青海省、新疆ウイグル自治区、チベット自治区
- **姉妹都市関係のない県** 青森県、岩手県、福島県、茨城県、群馬県、千葉県、石川県、奈良県、愛媛県、佐賀県、宮崎県

### 3. 中国のこれまでの経済発展

#### (1) 発展の歴史

- 1958～1959年の大躍進運動
- 1966～1976年の文化大革命で、多くの人命と自然と文化遺産が失われた。
- 1976年の「毛沢東の死去」「4人組の追放」で文化大革命が終わる。  
周恩来、朱徳の死去、唐山大地震
- 1978年に「鄧小平時代」始まる。  
「改革開放政策」以来、世界の予想を遙かに越える驚異の速度で発展
- 1988年までの約10年で中国大陸沿岸地域が巨大なベルト状の工業地帯に変貌  
世界中に広がる華僑・華人が故郷に投資し、中国経済界を華僑・華人がリード
- 1989年6月4日の天安門事件(第二次)で経済が停滞  
1992年1～2月の鄧小平の「南巡講話」で更なる発展が始まる。
- 1999年のGDPは、中国の約1兆ドル、日本の約4兆ドル、EUの約6兆ドル  
アメリカの約8兆ドル  
2000年に中国経済は離陸し、自力で飛べるようになった(大前健一)と言われる。
- 2003年のGDPは、中国の約1.5兆ドル、日本の約4.3兆ドル、独英仏伊の約7.4兆ドル、アメリカの約11兆ドル

1999年の1ドル=8.7元=120円、実力は1ドル=約5元=約160円?

・中国は、思いきった改革を、何の障害もないようにどんどん推し進めている。

中国の実質GDPは、もう日本を超えているかもしれないという推測もある。

(人民元の過小評価、日本円の過大評価を調整すると)

## (2) 中国元の実力

2001年12月 中国がWTOに加盟

2002年2-4月 1ドル=約8.2元=約136円 1元は16.6円

2002年7-11月 1ドル=約8.2元=約120円

2003年10月 1ドル=約8.2元=約110円

2003年に一人当たりGDPが1000ドルを超える。

2004年1月 1ドル=約8.2元=約105円

2005年1月 1ドル=約8.27元=約102円 1元は12.3円

2005年6月 1ドル=約8.27元=約110円 1元は13.3円

2005年7月21日夜8時 1ドル=約8.11元=113円(東京) → 110円(ロンドン)

## (3) WTO加盟 (2002.12)

外資の投入を継続させるためには、犠牲を払ってもWTOに加盟する必要があった。

WTO加盟で一層試練に立たされる効率の悪い製造業、価格の高い農産物

依然として続く高層ビルの建設ラッシュ、高価なマンション、高級車等の購買意欲

これらの不良債権化が大きな懸念、外資流入が停滞したら起こるバブルの崩壊?

2004年後期からローンの条件等を厳しくし、マンション、車の購買意欲を抑制

一方で続く駆込みのビル建築ラッシュ、07年頃までにまた様変わりするであろう。

## (4) 人民元の切上げ

ドルと連動する人民元、中国は大きく経済発展し、元の価値が高まったが、

ドルと人民元との交換レートは8.27で変わらず、元の切上げ圧力が高まっている。

かつての円高誘導・プラザ合意のように、近い内に起こる人民元版「元高誘導」

一時国外に出た中国の資金が、元高を期待して大量に中国に還流、ヘッジファンドも

買いに出ており、これを買って支える中国政府。このため外貨保有額が巨額になっている。

中国は大量の外貨でドル債を購入、逆にドル相場に影響力を与えるまでになっている。

04年「元の切上げ幅は約3割、2004年内に5%程度の切上げ」という観測があったが、実施されなかった。04年末には「05年内に20%以内の切上げがある」という観測  
経済実態を比べると30%程度安い水準と考えられている(05.4月)。

1ドル=5.8元=130円が適当とすると、1元は13円から22円の激高になる

このような激変には耐えられないので、徐々に変動相場制に移行するとの予測

・05年7月21日夜8時 1ドル=8.2765元から8.1100元へ

ドルペッグ制からバケット方式(ドル、ユーロ、円の変動に対応)に移行、成熟化へ

## (5) 元高の影響予測

元高になれば大きな影響を受ける輸出商品、更に大きな影響を受ける農産物価格

元高になれば、輸出商品の価格競争力が落ち、輸入農産物の競争力が高まる。

「元が10%切り上げられると、経済成長が1%程度下がる」という予測がある。

中国政府は、穀物価格が安くなり輸入が増えると、1億~1億5千万人の農民が失業する懸念があるとしている。

## (6) 中国企業によるアメリカ企業の買収

- ・膨大な外貨準備を背景に、中国はアメリカ企業の買収を始めた。パソコン大手の聯想集団(レノボ)は米IBMのパソコン事業を買収した(04.12)。家電大手海信集団(ハイアール)は米老舗家電メーカー・メイタッグの買収を提案している(05.6)。中国国有石油大手の中国海洋石油(CNOOC)は米石油9位のユノカルを買収する提案をしている(05.6)。米下院は中国の国営企業が国の資金で米国の企業を購入する問題と、ユノカルの掘削・探査技術が軍事に転用される危惧などから、ユノカル買収の差止めを可決し、中国脅威論が浮上している。

## (7) 国際的イベント

- ・中国は1997年のアジア経済危機も乗り越えた。様々な困難な問題を大胆に克服しつつ、当面は2008年北京オリンピック・2010年上海万博開催まで更に発展するだろう。

## (8) バブル崩壊?

- ・オリンピックが終わった後、日本も韓国も、いろいろな国でプチ不況が起こっている。中国では、これを引き金にバブルが崩壊するのではないかとされている。中国のバブル崩壊は、世界レベルの未曾有の大不況の引き金になるのではないかと懸念されている。銀行の不良債権は、GDPの3~5割にも上ると予測されており、深刻
- ・中国の高度成長をソフトランディングさせるべく、米は20人程の専門家を中国に派遣しているという噂がある(05.7)。

## 4. 中国 2004 年の主要経済データ

### (1) 国内総生産(GDP) 13兆6515億元(169兆8247億円)前年比9.5%増

05年の目標は8.0%(全国人民代表会議)

8.8%(97) 7.8%(98) 7.1%(99) 8.0%(00) 7.5%(01) 8.3%(02) 9.3%(03)

- ・高度成長が続き景気は過熱気味。04年12月の「中央経済工作会議」で経済引締め継続を確認したが、政府目標の7%を大きく上回り**9.5%**。インフレ懸念もあり、軟着陸を目指す。
- ・しかし、05年1-3月期9.4%、4-6月期9.5%で、1-6月半年で9.5%と変わらず。高度成長は05年も続き、制御が利かない状況で、インフレの懸念が強まる。中国政府は、引き続き引締め策をとるとしている。

### (2) 経済関連指標

固定資産投資額 7兆73億元(87兆1708億円) 前年比25.8%増

・輸出額 5934億ドル(61兆1202億円) 前年比25.8%増

輸入額 5614億ドル(57兆8242億円) 前年比36.0%増

貿易黒字額 320億ドル(3兆2960億円) 前年比25.6%増

対日輸出額 1007億ドル(10兆3727億円)

対日輸入額 1148億ドル(11兆8277億円)

貿易赤字額 141億ドル(1兆4550億円) 日本の黒字

**日中貿易総額** 2155億ドル(22兆2005億円) 2000-04年5年間で2.2倍に  
中国の貿易相手国としては、欧州連合(EU)、アメリカに抜かれて**三位に転落**した。

日本にとっては、アメリカを超え中国が**最大の貿易相手国**になった。

外資直接投資額 606億ドル 前年比13.3%増

・自動車生産台数 507万台(前年比14.1%増) 内乗用車 231万台(前年比11.9%増)

自動車販売台数 507万台(前年比15.5%増) 内乗用車 232万台(前年比15.1%増)

- ・外貨準備高 6099 億ドル 前年比 51.3%増 (日本は 8000 億ドル以上で第 1 位)  
05 年 6 月末で中国は 7000 億ドル突破、半年で 1000 億ドル以上増加  
年内にも日本を追い抜く勢い、今回の小幅の元高調整で元買い圧力が落ち着くか？
- ・四大国有商業銀行不良債権残高 1 兆 5751 億元 (19 兆 5942 億円) 18.1%減  
不良債権比率 15.6% 前年比 4.8%減

### (3) 世界の GDP ランキング (2003 年)

	GDP ランキング	一人当たり平均年収	《順位》
アメリカ	110,041 億ドル	37,424 ドル	《6》
日本	42,932 億ドル	33,633 ドル	《9》
ドイツ	24,020 億ドル	29,123 ドル	《17》
イギリス	17,977 億ドル	30,340 ドル	《14》
フランス	17,590 億ドル	29,249 ドル	《15》
イタリア	14,696 億ドル	25,593 ドル	《20》
中国	14,681 億ドル	1,126 ドル	《92》

## 5. 中国の経済発展に伴う大問題

### (1) 都市化・工業化に伴うエネルギー不足・水不足

- ・経済発展に不可欠なエネルギーと水であるが、03 年にアメリカに次ぐ世界第二位の石油輸入国に変貌、北部の水不足が益々深刻化
- ・公害防止のために進めている脱石炭計画が、04 年の原油高騰により停滞、都市のスモッグが復活、ガソリン価格の高騰  
中国のエネルギー消費(03 年)、石炭 67%、石油 24%、天然ガス 3%、水力他 6%
- ・03 年から始まった上海の計画停電、04 年からの北京の計画停電と懲罰的水道料金  
エネルギー不足は、三峡ダム建設(2009 年完成)、新疆天然ガス開発などに期待  
東シナ海、南沙諸島などで資源獲得に乗り出している。しかし、省エネの取組みは低調  
ビルの派手なライトアップ、抑制されない民間施設の冷房、燃費の悪い車など
- ・黄河の断流がなくなって 5 年になるが、周辺の河川からは水がなくなった。  
山東省の農業はほとんどが地下水灌漑により支えられている。  
3 ヶ所で既に始まった揚子江の水を北に送る計画「南水北調」、もうすぐ北京で揚子江の水が飲めるようになる。現在のような水の使い方では、揚子江も断流になるのでは？

### (2) 沿海地域と内陸、都市と農村の大きな経済格差・貧富の差

社会不安の原因……農業・農村・農民を巡る諸問題の解決「三農問題」(7 参照)  
産業構造の改革、内陸のインフラ整備の促進

### (3) 国有企業改革等による大量の失業者

社会不安の原因……WTO 加盟をテコに外資導入等を促進し、産業を活性化  
これによる雇用の確保、あらゆる部門で「産業化」の掛け声

### (4) WTO 加盟に伴い苦境に立つ農業

食糧輸入の急増……品質の向上・加工の重視、産業構造の改革・産地指定  
食品加工業等の「産業化」を促進、表彰と競争原理の導入

### (5) 過去の食糧増産・貧困などに伴う環境破壊

旱魃・洪水の頻発、水土流失…「退耕還林」(傾斜地の畑に木を植える)  
食の安全性・安定性の低下……持続的農業・生態農業の振興、農産物・食品の安全性向上

## 6. 第10次5ヵ年計画(2001～2005年)

### (1) 最重点戦略の「経済構造調整」

- ①農業の基礎的地位の強化と農村経済の発展、貧困の解消
- ②産業構造の最適化と国際競争力の強化
- ③サービス産業・情報産業の発展
- ④インフラ整備の強化
- ⑤西部大開発戦略と地域、都市化戦略と都市・農村の協調的発展

### (2) その他の重点戦略

- ①科学技術・人材教育
- ②人口・資源・環境  
人口増加の抑制と質的向上、資源の節約・保護と持続可能な利用  
生態系の維持・回復と環境保護・整備
- ③改革開放：国有企業の改革、所有制構造の調整、市場システムの整備  
金融・投資システムの改革、行政管理体制と政府機構の改革
- ④国民生活：雇用の拡大、社会保障制度の整備、収入増加と生活レベルの向上

### (3) 2004年3月の第10期全国人民代表大会第2回会議における重要方針

- ①食糧生産力の増強、土地制度の改革（秩序と補償）
  - ②農業・農村経済の調整、農村における農産品加工等非農業産業化の推進
  - ③西部開発の継続、特色ある産業の育成
  - ④法律に基づいた国土資源の保護と利用、海洋資源の開発と保護
  - ⑤都市と郡部の医療・衛生体制の整備
  - ⑥農村・社会・企業への科学知識の普及、科学精神の高揚、精神文明の建設
  - ⑦公務員業務の簡素化、「良く調査研究し、長期的展望を持ち、本質を掘め」
- ・2004年度中央財政支出の重点は、①「三農」関係予算の増加、②就業・社会保障予算の増加、③教育・衛生・科学技術・文化・スポーツ予算の増加、④地方交付金の増加、⑤税制等の改革の推進予算、⑥各レベルの行政府の正常な運営の保障経費

### (4) 2005年3月の第10期全国人民代表大会第3回会議における重要方針

- ①調和社会の建設(科学的発展観に基づく、鄧小平の先富論の修正)  
マクロ規制の強化、改革・開放の推進、社会的経済的弱者の救済  
900万人の新規雇用創出、失業率4.6%以内、消費者物価の上昇4%以内、農村医療の充実、社会保障システムの整備、農業税の免除、民衆の直訴への対応
- ②固定資産投資伸び率の05年目標を16%に(初の目標値)、04年25.8%、03年27.7%  
建設国債を1200億元(04年)から800億元(05年目標)に抑制、公共投資を押さえ込む  
99年から03年まで1500億元レベルで推移  
消費拡大政策の推進(中国のGDPに占める消費の割合約5割、日本は6～7割)
- ③人民元の適切な為替レートへの調整
- ④三農問題として06年に農業税の全廃、余剰農村労働力の都市への移転
- ⑤均衡発展のため、西部の大開発・東北の振興、資源の総合利用とリサイクルの促進  
新エネルギーの開発、環境・生態系保護の強化
- ⑥台湾の分裂を許さない反国家分裂法制定、世界の多極化の推進、周辺国との友好促進

### (5) ソフトランディングが急ブレーキに？

自動車業界の利益は、昨年同期(第一四半期)比の58%減になった(05.6)。

## 7. 中国は巨大な農業国

### (1) 中国は世界最大の穀物生産国で、世界最大の穀物消費国

穀類生産は約5億トン、米1億トン、麦1億トン、トウモロコシ2億トン、その他1億

### (2) 遺伝資源が極めて豊富、稲も大豆も中国原産。日本の多くの作物が中国由来 中東、中央アジアの遺伝資源は、シルクロードを通り、日本にまで伝わった。

### (3) 耕地は、一人当たりになると日本よりはるかに狭い約2反歩

疲弊する土地：土壌流失・塩害・砂漠化、多い天災：洪水・旱魃・害虫

過耕作・過放牧を反省し「退耕還林」で植林を全国的に展開中

穀類生産量が5億トンから4.3億トン(03年)に減少、増産体制を強化(04年)

主に「退耕還林」「退耕還牧」政策で低下。過剰在庫は解消し、穀物輸入が増加

### (4) 7割を越す農村人口9億人、急減する農村労働者5億人、増える潜在失業農民

5億人のうち余剰農民は約1億7000万人と言われる。私生児も億を超えるか？

「余剰労働力が多い農村人口の完全雇用を達成するためには2億5千万人分の雇用を

第2次、第3次産業で確保しなければならない」との労働社会保障大臣の発言(04.3)

農村に多い貧困人口、公式には2100万人、国連統計では1.2億人(2000年)

中国の内部資料では「2億の農村貧困農民をどう助けるか」という掛け声(05.6)

### (5) 頻発する農民争乱、04年上期で130件。その多くは、高速道路、発電所、工業用

地等を僅かな保証金で取り上げる土地開発。横暴な地方役人が主原因。直訴が年間1000

万件以上に。「直訴に答える」というのが中央政府の政策に盛り込まれた(6-(4)-①)。  
・どんなに貧しい農民にも課せられる農業税7%と労働奉仕。04年から三農政策の一環

として農民の税金を減免する動き。05年には農業税がなくなる見込み。  
(6) 三農問題、①郷鎮の機構改革・スリム化、②義務教育体制の強化、③県・郷鎮の財政

管理の改革、④債務発生抑制、農民負担の軽減などを指示、地方交付金を増額(05.6)

農民の負担の重さは、農業資材、医療費、教育費の三点

### (7) 品質が悪く価格の高い主要食糧、収益性の比較的高い野菜・果実の栽培が急増

高品質・低価格を求めて急増する輸入穀物、油糧大豆(03年輸入2000万トン超)

パン用小麦、ビール大麦、油糧作物、食用油脂

・地球政策研究所のレスターブラウン所長は「中国は増え続ける食糧需要への対応が難しく  
なり、穀物を年間3000~5000万トンを輸入するようになる」との予測(04.3)

穀物の低価格化には、規模拡大と農民の数を減らす構造改革が必須の大問題

余剰農民人口の吸収が期待される中西部地区の農村地帯における産業化

### (8) 農産物の安全性は、生産拡大のための化学肥料・農薬の多投、重金属汚染で脅かさ

れ、環境汚染が深刻化

中身の分からない加工食品、素材の質と添加物、国民の食の安全性への危惧が増大

消費者の食の安全性指向が急進、北部・西部の辺境で進む有機食品・緑色食品の生産

### (9) 国際的影響

中国の穀物生産の減少・不安定化は、世界の食糧供給に大きな影響を及ぼし、

食料自給率の低い日本への影響が最も深刻に現れるであろう。

中国と世界の食料供給の安定化に技術面で貢献することは、

中国のみならず、日本にとっても非常に重要な課題である。

## 8. 中国の青果物輸入の変遷

昭和49年(1974年)日中国交回復、昭和53年(1978年)改革開放政策始まる  
 昭和50年代半ばより補償貿易が盛んになる  
 中国産の漬物用塩蔵野菜、缶詰野菜、乾燥野菜などの輸入  
 昭和62～63年：中国産冷凍野菜・水煮タケノコの輸入増加  
 平成3年10月：台湾・アメリカ産生鮮野菜の緊急輸入  
**平成5年**： **アメリカ・東南アジア等からの輸入野菜の急増**  
 アスパラ・ブロッコリ・カボチャなど  
 平成6年：中国からの生鮮野菜の小口輸入が盛んに  
 品質面でのリスクあり、寄生虫問題など  
 平成9年：中国で日本の大手企業が冷凍野菜生産基地を作り増産へ  
**平成10年12月**：**農水省等による中国からのキャベツの緊急輸入**  
 トマト 中国産生鮮キャベツ・ネギの販売開始  
 平成11～12年：中国からの生鮮野菜の大規模輸送システム  
 中国からの野菜輸入量が全体の半分以上を越える。  
**平成13年4月**：**生鮮野菜のセーフガード**  
 平成14年頃より、野菜の農薬汚染問題  
 平成15年4～7月：サーズでサプライチェーンのリスクが  
 《日中間で秩序ある生産・流通システムの確立に向けての話し合い》

## 9. 中国の食品工業

### (1) 中国の食品工業の特徴

- ・80年以前の食品加工は缶詰・瓶詰を中心とする輸出商品の生産が目的
- ・加工食品は、食品素材(穀類、小麦粉、食肉食用油、調味料など)と酒類を除き、基本的には家庭や食堂で作るものであった。
- ・80年代に発展が始まり、90年代に急速に発展し、現在は品質の向上、開発能力の向上などの調整期に入っている。
- ・食品機械、包装機械の総生産は400億円で、食品工業の初期段階のニーズを満足

### (2) 中国の食品工業の現状

- ・食品工業の総生産額は10554億円で、工業総生産の約10%、納税の約20%

表1 年間売上げ500万元(6500万円)以上の国有・民間企業の実績(2002年)

	企業数	生産額(億元)	販売利益(億元)	純利益(億元)
食品加工業	10413	4777.0	303.1	115.3
食品製造業	4615	1967.3	215.2	82.6
飲料製造業	3287	1996.3	262.4	120.2

表2 農産物加工業(煙草、紡績、皮革加工、木材加工を含む)の実績(2002年)

	企業数	生産額(億元)	販売利益(億元)	純利益(億元)
	60556	27189.2	2601.4	1125.6
前年比増加率	6.0%	15.0%	15.7%	17.8%

- ・食品加工業3種は農産物加工業全体(12種)の約6分の1  
 12種は、食品加工、食品製造、飲料製造、煙草加工、紡績、服装繊維製造、皮羽製造、木材加工、家具製造、製紙、新聞書籍印刷包装、ゴム製品

紡績業の生産額(6370.8億元)は約4分の1で最も大きい。

中国の食品加工業は、入口は農業と密接に関係し、出口は包装と一体化している

### (3) 第10次5ヵ年計画(2001-2005年)の目標

- ①技術と設備を早急に刷新し、製品と企業と技術を調整せよ。
- ②技術を改善し、キー技術を導入・消化吸収し、課題を突破せよ。
- ③設備を自動化し、製品を多様化し、システム化、大型化して水準を上げよ。

### (4) 食品工業の重点発展方向《第10次5ヵ年計画(2001-2005年)》

- ①大豆加工： 組織・濃縮・分離蛋白、磷脂質関連
- ②トウモロコシ加工：澱粉、トウモロコシ粉、即席食品
- ③馬鈴薯加工：澱粉、加工澱粉、チップ・フライ製品、即席食品、廃棄物総合利用
- ④油糧加工：エクストルージョン利用、大型設備、低温抽出設備
- ⑤乳品加工： 牛乳貯蔵処理設備、市乳加工
- ⑥肉類加工： 屠殺、低温加工処理、副産物利用
- ⑦青果物の鮮度保持と加工： 予冷コールドチェーン、清浄野菜加工、大型果汁濃縮、選別システム
- ⑧飲料加工： 無菌飲料加工、オンライン検査
- ⑨即席食品と機能性食品加工：
- ⑩水産加工：
- ⑪食品包装機械：製袋・充填・シール包装、不規則物自動包装
- ⑫食品加工包装システム：オンライン品質検査、マイクロ波処理加工、機能性食品加工

## 10. 中国式産業振興策

中国は、多くの問題を技術で解決しようとしている。政府の主要メンバーも技術の出身が多く、政策にも技術重視の姿勢が見える。中国政府は外国の進んだ技術を積極的に取り入れようとしており、新技術を導入し、新しい企業を育てるために多くの予算を投入している。その担い手として外国で学んでいた多くの人材を中国に呼び戻し厚遇している。

先進国の中では欧米との結びつきが強く、政府の幹部も欧米の留学経験をもつ者が多く、特にドイツが強い。日本留学の経験者は比較的少なく、日本との結びつきは、ODAを多く出し、距離的に近いにもかかわらず、弱い。

中国をリードしている龍頭企業では、最新の設備を導入し、国際レベルの製品を生産できる体制をとりつつある。

- (1) 中央政府、地方政府の施策に合った産業を振興すると企業に補助金が出る。
- (2) 外国企業と共同で行なうと補助金が出やすい。このような企業は土地利用の認可が下りやすい。
- (3) 外国の新しい技術の導入について研究機関や大学の支援が得られやすい。行政が直接企業を支援する場合もある。
- (4) 新しい技術を持った研究機関や大学の職員自らが企業を起こすことができる。
- (5) 研究所・大学には具体的な外国の技術を導入するための研究費、設備購入費、特許購入費などがあり、科学技術省のプロジェクト経費が下りる。
- (6) 中国国内での新しい技術は特許取得も優遇される。  
(特許は、秘密がバレるので出したがらないという現実がある)
- (7) 特定農産物の主要産地では、優良な大中型企業(龍頭企業)を育て、農民からの原料調達を企業に任せる方式を導入している。この方法にも問題があり、農民の収入を増やす方向で行政が直接的指導に乗り出している。

## 1 1. 中国の知的所有権

- (1) 「人が喜ぶものを、真似て同じようなものを作れば、皆に喜んでもらえるはず…」という古くからの中国の考え方が、偽物をたくさん生む土壌に。中国国内には、先進国のキャラクター・ブランド、DVD 電気製品等は勿論、中国の有名商品の偽物も溢れている。
- (2) これまで、国営の紅橋市場(北京市)などで偽ブランド物がたくさん売られていたが、アメリカ等の再三の要求で今年(05)から姿を消した。一方で、民間の大型土産売り場で多くの偽ブランド物が売られるようになり、偽物作りも質的に進化している。
- (3) 以前は「法律無視の模倣」が多かったが、「上海ヤマハ」や「クレヨン新ちゃん(蜡筆小新)」などのような法律を駆使した「悪意の先駆商標」などに変わりつつある。中国は日本と同じ先願主義を取っており、本物が偽物に駆逐される状況にもなっている。
- (4) 中国では「研究成果を発表すると真似をされる、特許を出せば真似をされる」ので、「報告は広く公開したくない、特許を出したくない」という研究者がまだまだ多い。
- (5) 外国の特許に基づいて研究したものでも、中国で実用化できる技術であれば特許になると言う。「中国では新しいことであり、中国の役に立てば特許になる」と言う考え方で、日本では公知の技術も中国では特許になるようだ。
- (6) 中国・韓国の手企業は、日本等の特許申請書類から技術開発内容を調査し、これを真似することで研究投資を節約している。これは「先進国には特許を出す、中国には申請を出さない」先進国の申請実態をうまく利用したものである。
- (7) 日本は特許出願大国であり、現在日本は特許の内容を全文公開しているの、中国、韓国など外国からのアクセスが多く、知的財産がリアルタイムで流出している。中国で知的所有権の考え方が浸透するには、まだまだ時間がかかるであろう。
- (8) これからは、日本国内と同時に、中国に特許を申請することが重要である。

## 1 2. 中国の食事と日本の食事の比較

	中国の食品・料理	日本の食品・料理
素 材	豚肉・淡水魚、乾物・塩蔵肉・部位などの素材が豊富 生の料理(刺身、サラダ)が多くなった。	海産魚・野菜、新鮮な農林水産物
副素材	油脂が多い	油脂が少ない
調味料	香辛料が多い	香辛料が少ない(香辛料が増えてきた)
調理法	強火で炒める 焙る、煮る	生食、蒸す、煮る 炒めるものが増えてきた。
嗜 好	素材のテクスチャー 肉・貝・魚の旨み	素材の味 香 外観 海草・魚の旨み

## 1 3. 中国の食形態の特徴

- (1) **外食が多い。そのため、街に食堂、レストランが非常に多い。**  
その理由は、共稼ぎがほとんどであり、手間が省ける。かつては、家庭に冷蔵庫がなく、食材の保存が難しいという理由があった。
  - ・核家族化が進み、3人家族が多くなり、食べる量が少ない。
  - ・加工食品は家で作るのが基本で、調理済み食品はまだ少ない。
- (2) **中国の加工食品は、基本的には家庭で作られるものである。**  
中国の食品加工業は、小麦粉、食用油、調味料などの調理素材を作るものであり、麵、

饅頭、餃子、菓子、漬物などは基本的には家庭で作るものである。料理は、食堂・レストラン、市場の中で作られることが多く、半製品を家に持ち帰ることも多い。最近では廃棄物を少なくするため、食堂・レストランで残った物の持帰りが奨励されている。

### (3) ファーストフードが子供達・ヤングに人気

ハンバーグは日本とほぼ同じ価格であり、こんなに高くても買えるようになっている。子供の生活習慣病は確実に増え、社会問題になっている。

中国の肥満児童は10年前の女児が7.6%から10.0%に、男児が2.7%から5.2%になった。中国の成人の肥満率は、全国平均で7.1%、大都市では12.3%に上っている。このまま行けば、「30年でアメリカの状況と同じになる」と中国の専門家は警告している。

## 1 4. 食および食品の問題点

### (1) 安全性の確保が最大の問題

- ①消費者の心配は「安い野菜の農薬汚染」、有機燐剤による急性中毒
- ②有名スーパーの緑色野菜、有機野菜は高価、庶民には高嶺の花
- ③加工食品の添加物使用は不透明、これから問題になる表示問題
- ④まだまだ緒についたばかりの衛生管理、国民教育から始める必要性

### (2) 品質の向上・安定化が重要課題

- ①農家が小規模で農産物の品質が一定しない。  
青果物は生産過剰、品質の良いものから悪いものまで差が大きい。
- ②小麦粉等の一次加工品の品質が安定しない。成分と加工技術  
北京で最近美味しいパンやケーキ、コーヒーなどが出回り始めた。
- ③偽物横行で信頼されないブランド、安すぎるものは偽物という判断

### (3) 食の機能性については大きな関心

- ①多く出回る健康食品、機能性食品、しかし過信は禁物、偽物あり

## 1 5. 緑色食品・有機食品などの安心農産物

(1) 化学肥料、化学農薬の乱用による環境汚染の問題は、中国でも消費者の不安を招き、消費者が安全な食品を求める動きになった。

- ・人が安心して住める農村、生態系に調和した農業、そのための環境に優しい持続的な農業技術が求められるようになった。
- ・この動きを受けて、行政や諸団体が競って安全農産物・食品のルールを作った。

緑色食品、有機食品、無公害食品等々

(2) 1989年、農業部の新5ヵ年計画作成時に、安全な食品提供を目標に定め「緑色食品」と名付けた。

- ・1990年、農業部は緑色食品開発事務室を設立、国の緑色食品登録格付機関とし、緑色食品の規格規準を設け、合格すると緑色食品マークを付けることにした。
- ・1991年、有機農業運動国際連盟(IFOAM)の規準を参考に緑色食品の規格規準を改正した。
- ・1992年に、中国緑色食品発展中心が設立され、1993年にIFOAMに加盟した。  
現在、90の国、500の組織と関係を構築している。
- ・1998年、UN ESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会)は、開発途上国に中国方式を紹介・普及している。

(3) 「緑色食品」にはAA級とA級がある。

- ・AA級緑色食品は、国際的な「有機食品」の規準に従う。即ち生産・加工過程で化学肥

料・農薬、獣医薬、動植物用成長促進剤、食品用化学添加剤、飼料添加剤および環境と人間に有害な物質を一切使用しない。

- ・ A級绿色食品は、生産・加工過程で安全性の高い化学合成物質を減量したもので特定の物質、特定の場合に限り使える。
  - ・ 绿色食品のAA級とA級のどちらも遺伝子組換え農産物は使用できない。
- (4) 中国国民の安全性志向は一層高まると考えられ、これを受けて生産者の意識向上が必要となる。強力な行政指導もあり、現在安全性は急速に高まりつつある。
- ・ 安全農産物については、生産にコスト等がかかるので、差別化のための生産の組織化と商品のブランド化が必要で、現在農民の組織化に取組み中
  - ・ 安全農産物の包装・表示による差別化が行われるようになっている。
  - ・ 包装等による無承認貨物の混入防止が重要なポイントになっている。
- (5) 15年間で绿色食品産業は急成長した。04年末で绿色食品企業数 2836、製品数 6496、年間販売額 860 億元(1兆 2000 億円)になっている。
- (6) 绿色食品発展中心は绿色食品を 2010 年の主要食品の 6%、原料作付の 5%にする目標
- ・ 中国は、東北部を中心に病虫害の少ない冷涼地域、水さえあれば好条件の乾燥地域が広大にある。反面、日本は自然が豊かで病虫害も多く、有機農産物を作り難い条件にある。
  - ・ 特に中国東北・沿海部は日本と地理的に近く、共通する食材も多く、貿易に有利で、加工食品、冷凍食品の投資・輸出の実績がある。
  - ・ JASの有機食品と同等水準の格付制度のある国と認められ、かなりの商社等がJASの登録外国認定機関になっている(04年)。

## 16. 農業問題のキーワードと農業発展の制約要因

### (1) 農業と農業研究の関心事(04年中国農業科学院)

- ①農村の発展と農業政策・「三農問題」、 ②食糧の安全保障、
- ③新技術の創造と公共投資、 ④農業環境と農業の持続発展、⑤農業バイオテクノロジー
- ⑥食品の安全性確保、⑦畜産業の振興、 ⑧作物の品種改良

### (2) 農業発展の制約要因(政府の指摘 1999年)

- ①人口増加による圧力、 ②水・土壌などの自然資源の欠乏
- ③自然生態・環境条件の悪化、 ④旱魃・洪水・病虫害等の自然災害の頻発
- ⑤低い労働生産性、 ⑥粗放型農業経営、 ⑦科学技術の貢献度の低下

### (3) 期待される農業技術と実用技術の総合化

- ・ 総合的な視点がなかったために土地が大きく荒廃してしまった過去の経験から研究機関内外の学識経験者で総合的な討論を行なう学術委員会を開催、中国流
- ・ 農業は総合的な産業であり、**農業技術は常に総合的な視点が必要**であるが、中国の農業研究機関は縦割り、研究は個別分散的で、問われる研究の貢献度
- ・ 研究分野間の連携・協力による持続的農業生産の振興は国策であるが、情報を囲い込む研究者・研究所、情報の相互交流が非常に少ない中国の現実目に見える成果をあげるための「**研究の総合化**」は、中国流の上位下達か?
- ・ **カリスマリーダー**に指導される研究所は、効果的な研究の総合化で大きな成果
- ・ 農業・生物産業は 21 世紀の花形産業。日本の・中国の・世界の最重要産業
- ・ 日本政府の中国への技術援助・研究協力は、**環境問題**と**貧困救済**のキーワード  
各論は「**格差是正**」、東西格差是正の**西部開発**、都市農村格差是正の**農村開発**

## 1 7. 中国の独立法人研究機関

- ・法人化され、スリム化され、企業的になる元国立の**独立行政法人**研究機関
- ・**カリスマ**所長のもとで総合化により大きな研究成果をあげる一部の研究所
- ・スリム化され、効率化され、情報化に大きく先んじた**中国科学院**研究機関
- 遅れをとり、現在スリム化・企業化されている**中国農業科学院**の研究機関
- ・研究室長も資本家。国から**競争的なプロジェクト予算**を獲得し、人を集め、研究成果を売り、実績を付けてさらに予算を拡大し、金持ちになる研究者
- 優遇される外国からの帰還研究者、任期付きで雇用され評価される研究者
- 研究費が獲得できなければ、研究も出来なければ、生活も出来ない研究者
- ・出張の多い売れっ子農科院研究室長、所長より給料の多いやり手研究室長
- ・研究所に**契約雇用**される優秀な主任研究者、引っこ抜かれる優秀な研究者
- 優秀な主任研究者に雇用される若手の研究補助者、特技を持った研究者達
- 自薦の立会演説会で選ばれる役職ポスト、実績と能力で選ばれる研究者達
- 追われる研究能力の低い人、説明能力の低い人、短期で評価される研究者
- 排除される定年退職研究者**、研究能力の低い人の身の振り方が大きな問題
- 破壊されるじっくりとした基礎的・基盤的研究、お金になる研究が主流に

## 1 8. 中国の学術情報の入手経路

- (1) 中国は、国が余りに巨大であるため、全国を統一した学会や学術団体は非常に少ない。全国を網羅するような雑誌も少ない。雑誌はローカルなものを含める種類は非常に多い。中国は、このような事情からインターネットが非常に発達し、それぞれの研究分野で会員制ネットを数多く作っている。農業分野だけでもネットのアドレス集が電話帳のような本として出版されている。
- (2) 書籍も販売が執筆者個人に任せられることが多い。著者が出版社に出版原稿を渡すと、本にしてくれて費用を請求され、お金を払うと本を渡される。これを自分で本屋さんを持って行き、売ってもらうというのが基本。全国的な取次店がないという大問題。都市の書店も系列によって置いてある書籍が大きく異なる。良い本は見つけた時に買わないと、注文しても入手できず、二度と手に入らないことが多い。
- (3) 中国では国際学会を開催すると業績として高く評価されるので、国際学会が非常に多い。参加者は100~200人のミニ国際学会が多く、主に欧米人を招待講演者とするもの。国際学会でも、主催団体の違う似たものがあり、団体と人の系列で集まる人が異なる。開催情報は、インターネットで得る。一度参加すると、関連の国際学会の参加案内が来るようになる。《ただし、中国語のことが多い》

## 1 9. 日本社会とは全く異なる中国社会

### (1) 異なる歴史的・風土的な背景、日本と中国

- ・中国社会と日本社会を読み解く三つのキーワード (孔建 1996)
  - 中国 「騎馬民族・大陸民族」 「乱世・貧困」 「社会主義・人治主義」
  - 日本 「農耕民族・島国民族」 「安定・繁栄」 「資本主義・法治主義」
- ・農耕民族・海洋民族で山の多い島国と、騎馬民族で森林の少ない平原の大陸
- ・戦乱があると山や島に隠れた日本と、戦乱があると南部や外国に逃げた中国
- ・世界から見ると「特殊な日本社会」、良し悪しではなく社会システムの違い
- 「日本の常識は、世界の非常識」(竹村健一著書)であることが多い。

**(2) 集団責任・自己犠牲のA型社会・日本と、自己責任・自己主張のB型社会・中国**  
日本(A型40%、O型30%)、中国(B型40%、O型40%)

- ・ 集団を好むこつこつ型のA型と、独立心旺盛で大胆なB型、周囲に影響されやすいO型
- ・ 積上げ型コンセンサスの縦社会の日本と、上位下達の縦社会の中国  
中国は、欧米・インドなどの横社会とは異なる「単位」と言う名の縦社会で、  
日本よりもはるかに強い地縁・血縁で結ばれている縦社会
- ・ 個人の責任が曖昧な日本社会と、個人の責任が厳しく追及される中国社会  
集団の利益を優先する日本社会と、個人の利益を優先する中国社会  
周囲の迷惑になるからといってバス・電車の中での携帯電話を切らせる日本と、  
携帯かけ放題のにぎやかなバス、離陸直前・着陸直後にも携帯電話をかける中国

**(3) 周りとの関係で考える国と、自分が中心にいると考える国**

- ・ 周囲との関係で動く受動的日本社会と、自分が中心の能動的中国社会（中華思想）  
自分に責任がなくてもすぐ謝る日本人と、被害が及ばなければ決して謝らない中国人  
他人や外国からどう見られているかを非常に気にする日本・日本人と、  
他人や外国の反応をほとんど気にしない中国・中国人  
外圧に弱く、時には外圧を利用して自らを変革する日本と、  
「外圧には決して屈しない」と宣言し「自国の判断」を主張する中国（元の切上げ論議）  
自分がアジア人だと思う人が約半数(42%)いる日本と、アジア人という意識がほとんどない(6%)中国人、東南アジアの人は約9割がアジア人だと思っている(2003年)。

**(4) 考え方が同じで話さなくても分かり合えると思っている以心伝心社会の日本**  
**考え方が違い、話さなければ分からないと思っている会話主導社会の中国**

- ・ 統一した概念を求めたがる「日本人論」の多い日本、「中国人論」のない中国
- ・ 日本人は、1人では主張がはっきりしないが、数人寄ると方向と力を示す。  
中国人は、1人では主張がはっきりし、優れた能力を発揮するが、数人寄ると互いに主張し分裂し、力が削がれる。  
粘土のような日本社会・日本人と、砂のような中国社会・中国人（後半は孫文の言葉）  
固まって味が出る「おにぎり」のような日本人、  
ばらばらで一粒一粒に味がある「チャーハン」のような中国人
- ・ 日本では、幹部はお祭りの御輿で担ぎ手が担ぎ易い人、方向を決めるのは担ぎ手  
中国では、幹部は教養・行動力などで尊敬される人、尊敬する人の指示を守るのがその人への尊敬を表すことになる。これが「上意下達」を生む土壌

**(5) 法治国家と人治国家**

- ・ 守る法律を作りそれを守る規則社会と、守らせる法律を作り守らない対策社会
- ・ 約束を必ず守ろうとする日本人と、事情が変われば約束・契約も守られない中国人  
車の来ない赤信号でもじっと待つ日本人と、  
車の多い大きな道でも赤信号を渡ってしまう中国人  
社会ルールを守ることが重要と思う日本人と、  
自分の事情・判断が重要で、事故を起こしても自己責任と考える中国人
- ・ 集団のルールが重要な仕事中心の日本社会と、  
友人・親戚のつながりが重要な交友社会の中国社会
- ・ 緻密な時刻表を作り、時刻表通り正確に動かす日本の交通機関と、  
時刻表がないか、あっても時刻表通りには動かない中国の交通機関

停まる場所が決まっており、オーバーランをとがめる日本の電車と(福知山線事故)、  
停まる場所が一定しておらず、客が入口に合わせて走る中国のバス、列車・地下鉄  
住民の権利・事情でくねくねと曲がる日本の幹線道路と、  
政府(国・地方)の意思で作れる都会の広く真直ぐな中国の幹線道路

## (6) 職人社会と商人社会

- ・ 付き合い下手の職人氣質の日本人と、付き合い上手の商売人氣質の中国人
- ・ 小さな事にこだわる日本人と、時に大きすぎる目標を持つ中国人
- ・ 仕事優先の日本人社会と、仕事は「親しくなってから」の中国人社会
- ・ 知っている事を広く教える日本社会と、知っている事を極力教えない中国社会  
「情報は無料」で、すぐに知れ渡る日本社会と(多少変わりつつあるか?)、  
「情報は商品」で情報が局在化し、技術普及の難しい中国社会
- ・ 利益にならないことでも働く日本人と、利益になれば驚くほど働く中国人
- ・ 事前の準備をしっかりする段取り社会の日本と、あとは何とかなる突貫工事の中国社会  
分刻みのタイムスケジュールを作りたがる日本人と、  
仕事の内容と目標はあるが時間・段取りは自由の中国人
- ・ 長期的な視点の誠実な商売を望む日本人と、  
短期勝負の駆引き商売、友人になれば別扱いの中国人の商売
- ・ 市場でも正札で買おうとする日本人と、デパートでも安く買おうとする中国人  
物を買うとき、後払いが普通の日本社会と、全て前払いが常識の中国社会

## (7) 全てに平等な社会主義的日本社会と、厳しい競争の資本主義的中国社会

- ・ 極端な貧困や大金持ちのいない日本と、極端な貧困と大金持ちが共存する中国
- ・ 手厚く保護されている日の丸(国家)依存型の日本農業と、  
農協がなく直接企業に取り込まれる「請負い競争」「産業化」の中国農業
- ・ 平等に分配される農家の減反割当と、地主化していく都市近郊の不労富裕農家
- ・ 税金で補助される富裕日本農民と、貧しくても税金・労働奉仕が課せられる中国農民
- ・ 国民皆保険で保護される日本人の健康と、(自己負担三割と高くなった日本)  
金がなければ病気にもなれない中国人の健康(保険があっても平均自己負担率七割)  
大した病気でなくても(お金がかからないので)病院に行きたがる日本の老人と、  
病気がこじれるまで(お金がかかるので)病院に行きたがらない中国の老人
- ・ 組織化して競争を回避する社会と、組織化が難しく分裂して競争する中国社会
- ・ 業務の仕分けをし、依然として競争を回避する日本の法人化研究機関と、  
どんどんバッシング・競合をさせ、厳しく競争させる中国の法人化研究機関
- ・ 平等に分配される透明な日本の研究予算と、  
(企画管理)能力のある研究者だけが受取り管理する中国の不透明な研究予算
- ・ 成績の差をつけたがらない日本人と、何かにつけて差をつけ差を見せつける中国人  
個人コンテストの番組がほとんどない日本のテレビと、  
非常に多い個人能力コンテスト番組の中国のテレビ

## (8) 均一な金太郎飴社会の日本と、極めて多様な社会が共存する中国

- ・ 一見単一に近い民族構成・言語体系の日本と、多様な民族と言語が共存する中国
- ・ 価値観が共通する日本社会と、異なる価値観が共存する複雑な中国社会  
同じ商品はほぼ同じ価格の日本と、同じ物でも場所により大きく価格が違う中国  
価格幅の狭い日本商品の「値ごろ感」と、  
値幅の非常に大きな中国の吹っかけ価格は10倍の差

・平均的な技術レベルの日本と、様々なレベルの技術が共存する中国

## (9) 過去を水に流す日本人と、過去を何時までも覚えている中国人

「60年も経ったのだから」と言って、戦争責任を水に流そうとする日本と、  
「60年経っても謝らない」と言って、戦争責任を追求する中国  
戦争の過去を忘れる日本の教育と、戦争の過去を忘れない中国の教育  
悪いことをしても死ぬと免罪になる国と、  
悪いことをしたら死んでも末代まで責められる国

## 20. 中国人の「日本と日本人」のイメージ

### (1) 日本に行ったことのある人とない人で大きく違う日本のイメージ

日本人を知っている人と知らない人で大きく違う日本人のイメージ

知っている人は、清潔な環境、美しい自然、親切な人、美味しい食べ物など  
知らない人は、日本製品と手を前に揃えてお辞儀をする日本女性のイメージ

### (2) 天安門事件(1992年)を境に大きく変わった中国人の日本イメージ

#### 《日中蜜月時代》

日中国交回復の時の周恩来首相の言葉「日中は2000年以上の交流の歴史がある。これに比べ戦争の8年は一瞬ではないか。これは過ぎ去ったことであり、また、過ぎ去ったこととしなければならない。我々の子孫にこのような歴史の影響を受けさせてはならない」  
「中国人民も日本人民も軍国主義の犠牲者である」という言葉で「日中友好」が大きく前進、「日中友好」「日本は一衣帯水の隣国」が合い言葉

#### 《日中片思い時代》

天安門事件以来、愛国・反日教育が強化され、反政府勢力の方向をそらす方策へ、日中戦争関係の展示館が一斉に整備・拡充される。この頃から「日中友好」の言葉が聞かれなくなる。

#### 《相互不信状態》

江沢民主席の来日(1997年)時に「日本は過去の歴史を反省すべき」という言葉で冷却状態に、小泉首相の靖国参拝(2001年以降)で完全に冷却。政冷経熱に次々に起こる反日的事件、成都・北京でのサッカー試合、潜水艦の領海侵犯など日本人の「中国が嫌い」が半数近くなる(2004年)  
2005年4月9日の北京の反日デモ、4月16日の上海の反日デモ  
日本の国連常任理事国入りを間接的に阻止する狙いか、若者のガス抜きか。  
舵取りを誤ると反政府になりかねない中国の若者の不満鬱積。役人の腐敗、貧富の差、社会保障の不備、大学生の就職難

#### 《関係改善の必要性》

今後、日中間の関係改善に向けた努力が重要。中国国内の諸問題の改善が重要  
北京「盧溝橋」の展示館にあった虐殺蠟人形が撤去され、胡錦濤・小泉両首脳の握手の日中友好写真に換えられた(05.7)。

### (3) 中国人の知る日本語は「ミシミシ(飯飯)」「バカヤロ」「オイ」「ハイ」「よし」「何！」 漫才にも使われるこのネタ、知っている日本語は「オイ、ハイ、バカヤロ」 繰返しテレビで流される抗日戦争の映画、ちょびひげ・出っ歯の日本軍人 日中戦争を知らない日本人、戦前・戦中を教えられている中国人のミスマッチ 義務教育や展示施設で繰返し教えられる南京大虐殺、盧溝橋事件、細菌兵器部隊などの日中戦争時の残虐行為、宴会等で繰返し尋ねられる「小泉首相靖国参拝への意見」、

黒竜江省の「毒ガス弾問題」、政治問題にはコメントしないのが得策。

- (4) 広く普及している日本映画、テレビ番組。山口百恵と高倉健はスーパースター  
昔は「おしん」と「鉄腕アトム」、少し前はドラえもん（機器猫）とおぼQ  
これらは、話の中に良く出てくる「日中友好時代」の思い出  
今は「ポケモン」「クレヨンしんちゃん」「ちびまる子ちゃん」  
若者に浸透する日本のアニメや流行歌、ファッション、流行歌手の追っかけ
- (5) 性能の優れた日本の車、人気の高い本田車・豊田車、多く走るシャレード  
電気製品、カメラは日本製を買いたいという中国人の常識

## 2 1. 北京市の水不足、電力不足

- (1) 増加する北京市の生活水・工業用水、制限される農業用水、植栽の維持用水  
年々増え続ける水の使用量、3年で水道代は2倍以上に、  
04年から始まった懲罰的水道料金、周辺の省から優先的に集められる北京の水  
漏水で失われる3～4割の水、無駄に使用される植栽への灌水  
禁止された水田(2001)、地下配管・地下水灌漑で維持される高付加価値農業
- (2) 減少傾向の雨量、この10年で800mmから500mm前後へ、04年は平年並み  
干上がる河川、下がる地下水位、迫り来る砂漠化、詳細データは秘密のベールに  
不足する水源の水、密雲ダムは貯水39億トンから6億トンにまで減少
- (3) 北京市とそれを取り巻く河北省との水争いが深刻化  
河北省拒馬河流域の深刻な水不足、7年連続の旱魃被害  
北京の1人当たり水資源量は全国平均の7分の1、国際的な欠水基準の3分の1
- (4) 03年から深刻になった上海市の電力不足、制限される企業活動  
04年から始まった北京市の電力不足、地域割当て停電の復活、制限される公的機関の  
電力使用、特に夏場の空調が問題。使用禁止になるか能率の悪い空調機。

## 2 2. 中国各地域の「人の気質」等の比較

- (1) 東北地方：素朴で真面目で人柄が良い。男性はお酒好きで怒ると怖い。  
商売は余り上手ではない。顔が角張っていて目が鋭い。  
料理は塩味が強い。言葉は標準語に近い。親日感情がある。  
黒竜江省は特に山東省からの移民が多く、混血が進み、女性には美人が多い。
- (2) 華北地方：真面目で頑固で無愛想。貧しい人が多く、正直で騙され易い。  
山東人は大柄で美男美女が多い。
- (3) 北京人：大柄で豪放、情熱的で愛国者が多い。何でも北京が最高と思っている。  
堅実で保守的。京劇が好きで、麺類・特にジャージャー麺を良く食べる。  
北京料理は山東料理をベースに北方料理と宮廷料理の影響を受けて発展。  
北京ダックと羊肉しゃぶしゃぶ、美しい北京語から生まれた普通語（標準語）
- (4) 華中地方：白くて丸顔・やや小柄。賢く動作が北より速く比較的陽気  
「ずるい商人、優れた文学者だが、戦場では臆病者」と言われる。  
江蘇省は皇帝婦人が多く、上海美人の原産地とか。お米と甘いものを好む。  
薄味の煮込み料理が代表。上海語以外は北方系の言語が多い。
- (5) 上海人：プライドが高い。働き者で努力家。生意気で我が強い(他省人の言)。  
物事がはっきりしている。海外志向が強く、日本に来る中国人で最も多い。  
小柄、色白でポチャットした美人が多い。

行動は大阪関西人に似て活発、上海語を大声で話したがる。

エビ・カニ・川魚料理が多く、上海ガニは特に有名。

- (6) **華南地方**：明るく柔軟性あり、商売熱心。鼻が丸くジャッキーチェン型  
プライドは余り高くなく、愛国心はあまりない。料理の味は甘く、何でも食材、  
蛇カエル犬猫は有名。最近「広東語は美しい」と言う人が多くなっている。
- (7) **四川地方**：質実剛健。三国志の劉備玄德の居城。鄧小平のような大物が輩出する。四  
川省から重慶特別市(人口 3600 万人)が分かれた。技術に優れる。  
麻婆豆腐、ザーサイ、担担麵、火鍋のように辛い料理で有名。

### 23. 中国の社会階層

中国社会科学院の研究チームが「現代中国の社会階層の構造」を研究し、以下のような  
10 の階層と今後の階層流動の予測について書籍に発表した(04年7月)。

今後 8～10 年で中国の職業は飛躍的に高級化が進み、社会の中間階層が大きくなり、  
農業従事者が大幅に減少すると予測している。中国は開放的社会に近づきつつあるとして  
いるが、貧富の差が益々大きくなっており、これを克服することが大きな課題である。

政府要人・共産党幹部の子弟は「太子党」と呼ばれ、「幹部の子は幹部」として親譲り  
の權益を持ち、大金持ちになっている。現在数万人いると見られる特権階級は、その恩恵  
が親類縁者にも及び、半ば固定化されており、これに対して民衆の不満が高まっている。

**第1階層：国家と社会の管理者階層**：党と政府、事業単位および社会団体で実際的な行政  
管理職権を行使する指導者、幹部を指す。中央政府各部(日本の省庁に相当)と各委員  
会および直轄市(北京、上海、天津、重慶の4市)で実際的な行政管理職権を持つ課以上  
の幹部；各省市、複数の県・市を統轄する行政区域で、実際的な行政管理職権を持つ郷鎮  
以上の行政等級の幹部を含む。この階層は、現在全社会階層構造の約 2.7%を占める。

**第2階層：重役階層**：国有の団体、私企業および中国と外国の合弁、外国の独資などの大  
中規模企業で、企業所有者でない高次級管理者を指す。約 1.5%を占めている。

**第3階層：私企業の所有者階層**：ある程度の個人資本や固定資本を持ち、投資して儲け  
る人を指す。現行の規定により、8人以上雇用する私営企業の持ち主を指す。この階層は  
0.6%である。

**第4階層：専門技術者階層**：各経済分野の機構(国家機関、党の組織、全人民が行う事  
業単位、集団が行う事業単位および各種の非公有経済企業)で、各種の専門的な業務と科  
学技術業務を専門に従事する人を指す。約 5.1%である。

**第5階層：事務員階層**：部門の責任者に協力して、日常の行政事務を処理する専従の事務  
員を指す。主に党と政府の機関における中・低級の公務員、各種の企業事業単位で下部の  
管理者、専門性のない事務員で、約 4.8%を占める。

**第6階層：個人の商工業者階層**：少ない個人資本(不動産含め)を持ち、生産、流通、  
サービス業などの経営活動あるいは金融債券市場に投資して生計を立てる人を指す。例え  
ば小事業主や個人商工業者(少人数を雇用するに十分な資本を持ち、本人も直接労働と生  
産・経営に参加する人)、自己雇用者や個人労働者(十分な資本を持ち自分で開業し経営で  
きるが労働者を雇用しない人)および小規模に株取引きをする人、小株主、少規模に家を  
賃貸する人で、約 4.2%である。

**第7階層：商業サービス業従業員階層**：商業とサービス業で、専門的でなく、体力を使  
わない人と、体力的な仕事をする人を指す。この階層は約 12%である。

**第8階層：産業労働者階層**：第二次産業で、体力的あるいは半体力的な仕事に従事する

生産労働者、建築労働者およびそれに相当する人を指す。約22.6%を占める。

**第9階層：農業労働者階層**：現在、中国で最大の階層であり、集団所有の耕地を請負って農（林・牧畜・漁）業を唯一あるいは主要な職業とし、かつ農（林・牧畜・漁）業を唯一あるいは主要な収入原とする階層を指す。現在中国の労働人口全体の約44%である。

**第10階層：都市と農村で職業がない失業・半失業者階層**：固定した職業がない労働年齢に達した人達（生徒・学生を除く）を指す。現在約3.1%を占める。

## 24. 中国・北京の社会現象

- (1) 北京市の面積は北関東とほぼ同じ。その中にも存在する「都市と農村」の格差
- (2) 3ヶ月毎に変貌する大都市北京、幹線道路、ビル群、食べ物屋、商店の中味次々に建つ高層マンション、北京市内は平米1万元、100平米1500万円が相場  
北京郊外のマンションは100平米250~400万円、**02年から外国人も購入可能に**依然として続く**不動産バブル**、それを支える中国の富裕層、華僑、外国人投資家  
中国人がローンで買う不動産と車は、新たな不良債権の予備軍になる危惧  
04年後半、政府はローンによる車の新規購入を抑制する方向に
- (3) WTO以降 乗用車が値下がりし、**急増する自家用車**、マイカー通勤、交通渋滞  
土日の午後にも起こり始めた交通渋滞、原因の多くは初心者による接触事故  
二環路、三環路、四環路が渋滞、03年末に五環路が無料化、開通した六環路  
・交通渋滞を解消すると期待される地下鉄と新交通システム、現在、東西線と環状線の二路線の地下鉄。04年度に約10路線が一斉に着工され、突貫工事中
- (4) 計画通りに行われる都市再開発、消えていく古い北京の町並み・胡同(フートン)  
人気になった**胡同ツアー**、高値で取引される立地の良い胡同の四合院(伝統家屋)
- (5) 農村戸籍と都市戸籍、北京戸籍。売買される都市戸籍、北京戸籍は15万元？  
中国は何事にも証明書が必要な書類社会、ニセ証明書屋が活躍するニセ物社会  
半ば公然と売られる偽大学卒業証明書や偽領収書、本物である証明書も偽造
- (6) 優秀な公務員や研究者は独立して社長になる。**会社を経営する大学の先生達**  
中国の大都市は、石を投げると社長に当たるといわれるミニ企業群社会  
北京も市民の起業化精神が旺盛で、多いミニ企業、**北京の100人に1人が社長**  
・大学生はまだエリート、進学希望者を収容しきれない大学の定員、現在拡大中
- (7) 政府機関が行うビジネスは「公共性・公的権力」と「個人の利益」の混同  
腐敗を正されてきた政府機関、1992年 1995年 1999年に**反腐敗キャンペーン**  
それでもはびこる公的機関の腐敗。拝金主義が元凶か。  
・追放される「ぐうたら鉄飯椀・親方五星紅旗」、次々に変わる役所の機構と定員  
取り潰しになる効率の悪い国営・国有企業、**溢れる失業者**で治安悪化が社会問題  
・「仕事中の無駄話」でわかる組織の民営化度、問われるプロ意識、社長の指導力
- (8) 都市での犯罪の増加、はびこる**黒社会**(組織犯罪のプロ集団)、増加する乞食  
中国のアキレス腱、**経済解放と治安悪化の綱引き**。犯罪の増加は、①商業都市の膨張、  
②失業者による流民群の形成、③社会規範の混乱、などによるとされる。  
2階まで鉄格子で守られる北京の住宅、タクシー。盗難警報の付いた乗用車  
良く盗まれるプリペイド携帯電話機、路上で売られる盗難携帯電話機  
黒社会の犯罪は何でもあり。盗みと墳墓などの盗掘、車輛強盗、密輸、人身売買、賭博、  
詐欺と偽造、ポルノと売春、麻薬、宗教とカルト、営利誘拐、請負殺人など、多様かつ  
大規模な犯罪、その一部が日本に上陸し様々な犯罪を起こしている。

## 25. 中国のトイレ事情

- ・日本人に広く知れわたっている中国のトイレ環境の劣悪さ、観光旅行に尻込み
- ・北京でも一般の家にはなかったトイレ。皆が公衆トイレを利用し、資源を再利用  
基本的には、大は大、小は小で先ず固液(大小)分離し、再利用しやすくしていた
- ・どんな小さな田舎のトイレでも、男女は完全に区別されるが、隣同士には壁がない  
日本のトイレは基本的に個室タイプで、まれに男女共用あり。大小は(固液)分離せず  
中国のトイレは開放型なので、男女共用は皆無。個室でも男女共用に抵抗感あり
- ・壁に向かってしゃがむ日本型、壁に背を向けてしゃがむ中国型、壁に背を向けて座る西洋式。ほとんど使われない研究所の西洋式トイレ、研究所でも戸を開けたまま大をする人もいる、子供の時からの習慣か、閉所恐怖症か。

04年北京で開催された「世界トイレサミット」、本格的に取り組むトイレ改革

01年から始めたランク付け、最高のトイレは四つ星。観光客へのサービス向上が目的。近代的で良く管理されている高級ホテルのトイレ、観光地の公衆トイレは改善途上、維持管理が課題。地方の観光地はまだまだ緒に就いたところ。

壊される古い公衆トイレ、壁のない「ニーハオトイレ」、一般用はこれから。  
北京市に04年までに設置された四つ星トイレは88カ所、三つ星161カ所  
一時禁止されたトイレの料金徴収が、衛生管理をさせるためか、最近また復活  
直ぐ壊れる新しいトイレ、すぐに直らない壊れたトイレ、悪い利用マナー  
タバコのポイ捨て等が故障の原因。流れっぱなしの水洗トイレは少なくなった。

## 26. 北京の物価と給与など

### (1) 北京の物価

平均して東京の2～3分の1、輸入の日本商品は東京の2～3倍

「高いものでも飛ぶように売れる世界」と「物価10分の1の世界」が共存  
最近は、ややインフレ気味、値上がりする生活必需品。ガソリン価格が影響か

### (2) お土産品の値段は、売り子が3～5倍ふっかける、時には10倍の値段

これを上手にまげさせられない日本人、3割引・半額で満足する日本人

値切りをゲーム感覚で楽しむ中国人、値切りの目標は3分の1、時には5分の1

### (3) まだない品質の良い中国製日本商品、青山・ユニクロはまだ中国にはない。

まだまだすぐ壊れる中国製品、売り場で動くことを確認してから売る電気製品  
中国人が買ったがる日本製品、やはりすぐ壊れる中国製日本製品と偽日本製品。

### (4) 能力による大きな給与格差、大卒初任給は手取りで1600-1800元(25000円位)

外国語が話せ、パソコンができると2300-3500元(35000～50000円位)

コンピュータープログラマーなどの特殊な技術者は8000-10000元

コピー・お茶汲み・一般の事務員・工員は500-800元

北京のレストランの出稼ぎ店員は、食事・宿舎付きで月300-500元

出稼ぎ農民は、1日12時間の肉体労働、日曜もなく働いて月500-600元

地方都市では更に低い水準の給与、国内に先進地域と途上地域、植民地が共存

### (5) 安い労働力は無尽蔵、高い給与を求めてどんどん職を変える中国の若者達

04年、南部の都市で低賃金・長時間労働に抗議し、従業員の賃上げスト発生

「低賃金で無尽蔵の労働者」という考え方は、そろそろ考え直す必要があろう。

## 27. 車を巡る事情

### (1) タクシー事情

空港に多い白タク(中国では「黒車」という)、外人を狙ってふっかける料金  
遠回りは当たり前、カモになりやすい日本人  
北京は初乗り10元、市内は遠くても100元以内でおさまる安いタクシー料金  
鉄格子でタクシー強盗から身を守る運転手、オリンピック前に鉄格子のないタクシーに  
新しいデザインの鉄格子のないタクシーが登場(05.4)  
病気も事故も罰金も自己責任、運動不足で増える運転手の生活習慣病  
交通渋滞、罰金強化(04年より)、ガソリン価格の高騰等で低下するタクシーの収益性  
タクシーも請負制。運転手はタクシー会社から月約7万日本円で車を借り、1日15時  
間、土日も働いて月3000~4000元・5万日本円ほどを稼ぐ。

### (2) 道路事情

北京は、二環路、三環路、四環路が整備され、次々と渋滞に、  
03年に整備され有料であった五環路が、03年末に無料化、開通した有料の六環路  
車の前を悠々と横切る歩行者・自転車、幅広い道路の車線上に立つ歩行者、  
これをア・ウンの呼吸で避けて運転するドライバー  
高速道路上で石炭などの落下物を拾う人、路側で物を売る人、随時客を乗せる高速バス  
高速道路を高速で走れない老朽トラック、故障で高速道路上で修理をする老朽トラック

### (3) 運転マナー、交通マナー

空いている車線があれば、どんどん車線変更をする蛇行運転  
決して譲ろうとしない合流点、横入りが渋滞の原因にも  
北京では少なくなった逆走運転、地方ではまだまだ多い一方通行の逆走  
近道や困った時には一方通行でも逆走する車  
高速道路の路側帯を20分ほど大逆走した大型観光バス(04.10 山西省で)  
ある地位以上的人是、パトカーがサイレンを鳴らして先導。信号は全て無視。  
偉い人が通行する場合、その人のために道路が封鎖される。一般車は延々待たされる。

### (4) 交通事故

運転の初心者が増え、頻発する小さな接触事故、  
路上にそのまま車を置いて交渉する事故処理、  
これがまた交通渋滞の原因に

## 28. 世界の自動車産業の縮図・中国

(1) 中国の自動車生産台数(439万台、03年)は、ドイツ(350万台)を抜き、アメリカ(1697万台)、日本(583万台)に次いで世界第3位になっている。ちなみに、第5位はイギリス(294万台)、第6位イタリア(250万台)、第7位フランス(248万台)、第8位韓国(132万台)である。

(2) 世界の企業別自動車生産台数(03年)は、GM(809万台)、トヨタ(678万台)、フォード(672万台)、VW(501万台)、ダイムラー・クライスラー(430万台)、プジョー・シトロエン(328万台)、日産(296万台)、ホンダ(291万台)、現代(275万台)、ルノー(238万台)である。

(3) 中国の自動車生産会社(03年生産台数)と世界企業との関係

《中国の3大自動車企業と10大自動車企業》

上海汽車-GM(25.2万台)、VW(35.5万台)

第一汽車-VW(30万台)、トヨタ(8.1万台)、ダイハツ(13万台)

東風汽車-ホンダ(04より合弁)、日産(02より包括契約)

広州自動車—ホンダ(20.2万台、98からアコード)、トヨタ(06からカムリ)  
 長安自動車(11万台)—フォード、マツダ、スズキ  
 北京自動車—ダウラー・クライスラー、現代(14.4万台)、三菱  
 神龍自動車(8.9万台)—プジョー・シトロエン  
 奇瑞自動車(8.6万台)—長豊自動車—三菱(パジェロ) 昌河グループ—スズキ

## 29. 中国社会の付き合い方

- (1) 食事が不可欠の社会(兎に角会食が多い)。料理選定の上手下手も重要な評価ポイント  
 料理店、料理の食材、白酒の銘柄などで判断される接待のランク  
 もてなし側の主人がテーブル奥の中央・上席に座り、右隣に主賓、左隣にその次の客が座る。座る場所を決めるのが主催者(もてなし側)の重要な仕事  
 主人は軽妙な話題を出して宴席を盛り上げ客をもてなす。文化的なこと、海外経験など初めは仕事の話はせず、教養・蘊蓄を話す。親しくなってからが本当の仕事の話  
 コネを作るための会食が多いが、行過ぎると腐敗につながる。新しいコネ作りとコネ維持のために賄賂が横行し、官僚達が腐敗した過去がある。中国の賄賂は、現金より豪華な宴会・贈り物・海外旅行招待という形が多いが、現在は自粛するよう官僚達に警告がだされている。
- (2) 序列、地位、紹介者が決める客の扱われ方。団長と副団長で大きく違う扱い。
- (3) 政治の話はタブー  
 中国側から靖国の話が出てくる場合が多くなった。
- (4) 中国は「同文同種」ではなく、「同文異種」と考えよ。
- (5) 女性も対等の中国社会、ある意味では女性上位の中国社会
- (6) 「水を飲む時に井戸を掘った人のことを忘れるな」という中国の考え方

## 30. 若返る中国

文革世代(45~55歳)の幹部は非常に少ない。これが中国社会の若返りを促進し、各界の指導者層はここ2~3年で若返り、大学の学長、研究所の所長などは40歳代前半が多くなった。若がえる中国に何らかの大きな変革が起こるのであろう。反面、世代間に大きな溝が生じており、敬老精神は失われつつある。

表5 中国の各世代間の考え方の特徴と目標

世代(教育を受けた年代)	特徴	重要なこと
革命世代(1955-1965)	革命の誇りと国への忠誠心	社会貢献
文革世代(1966-1977)	まともな教育を受けなかった世代	社会的地位
改革開放世代(1978-1989)	夢を抱いた時代	経済的豊かさ
高度成長世代(1990-現在)	夢を実現していく世代	個人の自由

「中国人の価値観」(千石保ら:サイマル出版会,1992)を参考

## 31. 中国の21世紀の課題

- (1) 都市化・工業化に伴い急増する水・エネルギー需要に対応した資源の確保
- (2) 沿海地区と西部地区の経済格差、貧富の差の格差是正と貧困地区の解消
- (3) 国有企業など競争力の弱い企業の改革、産業の振興  
 これに伴い発生する失業者の新たな雇用の創出、社会問題化の阻止

- (4) WTO加盟による外資導入と産業活性化、苦境に立つ農業の産業化支援  
食の安全性の確保、自然に立ち返る生態農業の振興、自然環境の回復
- (5) 沿海と内陸の格差を是正するための物流インフラの整備と制度的な整備
- (6) 西暦2030年に迎える16億人の静止人口、人類が未経験の超高齢化社会到来  
一人っ子政策の見直しと、大量の潜在失業農民、都市失業者を抱える矛盾の解決
- (7) 親と祖父母に甘やかされて育った一人っ子、社会で鍛えなおされる一人っ子  
この一人っ子達が支える次世代の中国社会はどのようなものになるのか。

## 32. 中国ビジネスメモ

### (1) 中国への進出の形態

- ①合弁、独資、合作、技術提携、販売代理、委託加工、個人事業、貿易など
- ②製造業、商社、物流、サービス業、農林水産業など

### (2) 成功度

- ①合弁では90%がうまく行っていない。②独資では50%がうまく行っていない。  
その主な理由は、中国人のものの考え方に対する理解不足にあるとみられる。

### (3) 集団意識

- ①日本人は、無意識に集団意識が働く。外国でも自然と日本人の集団ができ、ルールができる（必ずしも良い面だけではない）。  
昔から村八分にしても火事と葬式は付き合うという伝統
- ②中国人は「1人では龍、2人で猫、3人で烏合の衆になる」と言われる。  
中国人は、1人では優れた能力を発揮し、非常に頑張る。  
2人になるとお互いにけん制し合い、スムーズに行かなくなる。  
中国ビジネスでは、複数の幹部、集団指導は馴染まない。部署を細かく分け、責任者を一人にする。技術等の秘密保持にも有効とされる。  
上手くいっている中国企業は、優れた罰金制度を持ち、効果的に使っているという。  
指示に従わない人、能力の低い人はどんどん換えられる。

### (4) 中国の労働環境

- ①末端の労働者の賃金は驚くほど安い。労働集約的なものの生産費は非常に安い。頭脳労働者の賃金も世界水準から見ると非常に安いといえる。
- ②少しでも高い賃金を求めて職場を簡単に異動する労働者。気軽に尋ね、教えあう給与の額。高い給与はステータス。自分をできるだけ高く売ろうと努力する。
- ③経営者は、辞められても良いように細かく分けた単純労働をやらせている。辞められてもすぐに人を補充できるように。辞められてもノウハウが持ち出されないように。
- ④高給で優遇される管理者。ノウハウを知りうる立場にある管理者。  
それでも機会があれば、より高いポストを求めてやめていく可能性がある。

### (5) 中国は官僚社会

- 手続きは非常に難しい。有力幹部に頼むとスムーズに事が進む。  
しかし、これに頼りすぎるのは要注意。  
会社が儲かると次々に掛けられる税金のような経費

### (6) 中国の習慣（自己中心的中華思想）

- ①他の人の意見をあまり聞かない。  
自分の判断だけで「没問題(問題ない)」「没方法(仕方がない)」と言う。
- ②自分のやり方を押し通そうとする。諦めも早く、解決にあまり努力をしない。

③自分のメンツを重視する。決定権を持たない人でも断定的に返事をする（誤解の原因）

## (7) 競争社会の例え話

イソップの「蟻とキリギリス」は、中国では原作の通り、働かないキリギリスは真冬の野原で飢えて死ぬ。

アメリカでは、「冬になり、蟻は飢えたキリギリスを暖かい部屋に迎え入れ、熱いスープを飲ませてあげる。」となる。

日本では「キリギリスは改心し、翌年春から蟻と一緒に畑を耕し出す」と変わる。

「自分の利益だけを考えて、容赦なく相手をうち倒して自分だけが生き残る」（中国的）商法と、「相手の利益、相手の満足を最優先に考えて、そこから自分も利益を得る」（日本的）共存共栄商法との違いがある。

## (8) 「官倒」と「爆富」

「官倒」とは、官僚の利権を利用したブローカー行為

「爆富」とは、転売するだけで巨額の利益を得る成金

90年代、日本企業が出会う相手の多くは、「官倒・爆富族」であった。

官と商の癒着は中国の伝統であり、それが復活すると自由競争原理が働きにくい。

中国の有力企業は、彼らの親しい友人であることが多く、試合をやりながら審判と監督を兼ねているような状況にある。

## (9) 個人経営者

①もともと規制の緩い浙江省の温州、紹興などの行商人がルーツである。

北京でも、個人営業では浙江省、福建省の出身者が多い。

今や都市部の日用品販売業者として一大勢力になっている。彼らはフットワークが良く、損得に敏感で市場開拓に熱心、最大の効率で最大の利潤を追求する。

日本ビジネスの重要な戦略パートナーになりうる。

②個人主義的実利主義であり、創造力、開発力、持久力では弱い。

③天性の営業マンで、熱気と説得力がある。転んでもただでは起きない。

正当な報酬を支払うと、大きな成果を上げてくれる。

## (10) 中国ビジネス10のポイント

①言葉：中国語に堪能な日本人が非常に少ない。

話の内容が正確に伝わっているか確認する必要がある。

②物流：中国国内の輸送がスムーズにいかない。

省境・県境・村境等で徴収される通行料

③電力：すぐに引けない電気・すぐに増やせない使用量。

近い将来に水と併せて電力の供給不足が心配される。

④人材：専門の人材が少ない。充分トレーニングされていない場合が多い。

⑤外貨：交換がスムーズにいかない。追々良くなるだろう。

⑥現地調達資材：不良品が多い。品質をその都度充分確認する必要がある。

⑦国内販売：各方面での購買力が高まってきた。

中国国内での販売をターゲットにした展開にも将来性が見えてきた。

⑧技術ノウハウの漏洩：すぐ漏れる。すぐ真似される。（社員がやめて独立する）

技術ノウハウの効果的な漏洩対策が必要である。

⑨政策の変更：突然さかのぼって変更されることがある。

⑩人治と法治の混在：付き合いに金がかかる。

### 33. 北京の今・昔

#### (1) 10～15年前にあって、今は(ほとんど)見なくなったもの

ポンとお金を投げてよこす無愛想な女店員(まだ少しいる)  
品物があっても、とりあえず「没有・無い(無い)」と言う、やる気の無い店員  
外人用兌換紙幣、外人と中国人で違う入場料、兌換券でしか買えない友誼商店  
外国人と見ると近寄ってきた兌換紙幣交換のインチキ両替人  
50度以上の強い「白酒・ババ」でとことん飲む酒席、たばこの勧め合い  
やたらに酒の強い老幹部、産業に直接関わる中央官庁の役人  
使用料を取る公衆トイレ(まだ少しある)、水漏れの酷い水洗トイレ  
日時を決めて起こる停電、晴れの日でも曇りに思えるスモッグ  
はげの薬・発毛剤「101」(まだある)、痩せる海草石鹸  
かからない北京市内の電話、「不見不散」という「会うまで帰らない」待合せ  
寿司詰めバス、自転車の大群、幹線道路の大渋滞(二環・三環路の建設前)  
街頭の屋台・羊肉串焼き屋台、壺に入ったヨーグルト(まだ少しある)  
生鮮食品の老舗卸売市場の大鐘寺市場、目の前でさばく 生きた鳥や兎  
人出でごった返す狭い通りの王府井大通り、薄暗い東風市場  
早朝、よろよろと歩いて散歩する纏足の老女

#### (2) 10～15年前になくて、その後生まれたもの

今では若者の必需品・携帯電話、インターネットのアドレス交換  
カラー照明によるビルのライトアップ、花火のようなネオン飾り  
乞食(少しあった)と子供の物乞い、ゴミになると禁止になった名刺大の小広告  
ペットボトル入りのミネラルウォーター、家庭用大型ミネラルウォーター  
ペットを連れて散歩をする人、携帯電話をかけながら歩く若者  
美味しいコーヒーが飲めるコーヒーショップ・スターバックス  
美味しい日本ラーメンの店と牛丼の吉野屋、回転寿司屋  
日本食の100元食べ放題の店、辛い四川火鍋屋、日本豆腐と日本豆  
無料で配られる数多くの日本語の北京タウン誌  
中華レストランで出だされる海産魚の刺身とわさび、日本風の先のとがった箸  
毛主席肖像のお札、04年に一元札が出て100元、50元、20元、10元、5元、1元が揃う  
「軽軌・チングイ」という名のモノレール、オリンピックまでに沢山できる予定  
ワンマンバス(北京では04年に登場、地方都市では既にある)  
透き通った秋の青空(04年は原油価格の高騰で、再びスモッグが多くなった)  
街頭で売られる違法コピーのVCD(04年、違法コピーの取締りが強化される)  
強盗よけの鉄格子(タクシートの鉄格子はオリンピックまでに廃止か?)  
三環路より外の環状道路、空港のシャトルバス、万里の長城のゴンドラ  
法人化された元国立研究所と厳しい競争にさらされる研究者  
読者稼ぎのきわどいニュースを流すタブロイド新聞

#### (3) 今も昔も変わらないもの

春の黄砂と初夏の柳絮(リュウジョ、柳の綿毛)、広場での早朝の太極拳  
2両連結のバス・トロリーバス、時刻表のない公共交通機関  
停車位置の決まっていないバス・電車、入口に向かって走る乗客  
前門界隈の賑やかさ、天安門広場の風揚げ、賑やかな春節・廟会、坊膳の料理  
偽ブランド・偽証書・偽美術品、多い保証金・罰金制度

ほとんど存在しない割り勘制度、お金の前払い制、腹の立つ行列の割込み  
子供の尻割れズボン、11月15日に始まる暖房のルール  
ほとんど聞かれない「对不起・トゥイブチ・ごめんなさい」の言葉  
便乗という名の公私混同、直前に突然来る催し物の予定、度々起こるドタキャン  
緑の多い北京友誼賓館の敷地、サービスの悪い郵便局  
中国・政府にとって都合の悪いことは報道しない新聞・テレビ  
信憑性のある噂が瞬時に伝わる庶民、ニュースより噂を信じる庶民

### 34. 日本人にとっての「驚きの常識」

#### (1) 「1週間もてばよい」という植物・動物で飾られる式典・祝祭日

冬の公園の熱帯草花、作りたての池に放される金魚、満開状態で植えられる花木  
1～2日で作られる満開の花壇、1日で変わる公園の植栽や大通りの並木  
スケジュール通り雨でも行われる植木の水やり、畑の灌漑

#### ・梅や桜の造花で満開の状態飾られる春節の公園、

緑色の照明やペイントで飾られる冬の枯れた芝生

白く塗られたり電飾で飾られるクリスマス時の生きた大きなモミの木

常時ライトアップされる高層ビル、七色の光で輝く鍾乳洞

常時光っぱなしの花火のような立体ネオンサイン

#### (2) 横の連携が見られない国際会議の受付・進行、守られない会議のスケジュール

予約したのに「予約していない」と断られる国際会議の受付、ホテルの宿泊

「早すぎる予約は忘れられる」と言って、直前にされる予約・アポ、それでOK  
違約金を取られないホテルの直前キャンセル、直前まで分からないスケジュール  
溢れる「スケジュール変更」という名のドタキャン、最後まで仮のスケジュール  
アポは重要な順に実行され、直前のアポでも重要なアポが通り、ドタキャンされる一般  
の重要性の低いアポ。これで評価が判る自分のアポの重要性。

ドタキャンされたら腹を立てず、自分との約束より重要なアポが入ったと理解せよ。

朝令暮改を恐れるな、ドタキャンに驚くな、中国での予定は直前まで全くの未定

#### ・全員参加の公的会議、欠席者の多い私的会議

必ず15～30分遅れる会議の開始時間、予定数より多くなる挨拶の人数

#### (3) とにかく多い安い贈り物・貰い物、公務員は高価な贈り物を自粛する建前

一箱5000～15000日本円もする贈り物用の月餅、過剰包装の見本

存在しない割勘（お金を持たない学生などには割勘があるらしい）

食べれない程注文される料理、大量に捨てられる料理（最近持帰りの習慣）

#### (4) 罰金とは「お金を払えばやっても良い」ということ。

積立てて準備する罰金覚悟の行動

罰金で管理される企業労働者、罰金をチェックする監視員も監視される

「順調な会社は優れた罰金制度を持っている」と言われる。

04年から厳しくなった交通違反の罰金、交通ルールが良くなった北京市

#### ・ホテルに泊まる時にとられる多額の保証金

公園のボートを借りる時にもとられるボートの保証金

大きな食堂でアイスを食べる時にも、ヨーグルトを食べるときにもとられる容器の保証  
金、一種の容器デポジット制

物の購入は全て先払いが常識、病院の診療も先払い、閉め出される貧乏人の医療

- (5) 多い偽物・盗作、すぐ壊れる安物、無視される知的所有権  
 ブランド品でも安物は偽物という常識、本物と見分けがつかない精巧な偽物  
 横行する偽札、銀行から受け取ったお札も偽札混じり。  
 04年度に没収された偽札は11億余元にもものぼる。
- (6) 飛行機の離陸直前まで携帯をかけている乗客、着陸と同時に携帯をかける乗客  
 大声で携帯をかけるバスの乗客、大声で話すバスの乗客と車掌、BGのテレビの音  
 バス、飛行機内で音を出して映し出されるテレビ、映画
- (7) 「人は左・車は右」「赤信号は止まれ」などの交通規則は一つの目安  
 「車線は車の走行の目安」、頻繁に車線変更をする運転手  
 「車線の線上は安全」とばかりに、大通りの真ん中の車線上に立っている歩行者  
 「みんなで渡れば怖くない」大通りの赤信号、そこに突っ込む右折車  
 車の助手席は「上席」であり、「1人で乗るタクシーは必ず助手席」の習慣  
 ・頻繁に路上で見られるバスの故障、故障したバスを押し移動させている乗客  
 バスの故障修理は、別名「路上整備」と呼ばれる。  
 幹線の渋滞の多くは車同士の小さな事故。そのまま路上に車を置いてする示談
- (8) 強盗よけの鉄格子に囲まれたタクシー運転手、オリンピックまでに廃止の予定  
 強盗よけの鉄格子で守られるアパートの一階・二階
- (9) サーズの時、「たくさん人が亡くなって大変ですね」というと「大丈夫です。北京にはたくさん人がいますから」という答え。違う人から何度も同じ答えを聞いた。  
 天安門事件の時、死者が出たことに対して鄧小平は「2万人位死んでも、中国は人口が多いから問題ない」と答えたとか。  
 麻薬犯を中心に死刑執行者が多い、たくさん人がいるので見せしめに・・・ということか
- (10) 開所式、取材されたらお金を払わないと載せてもらえない新聞・テレビ  
 取材を提案したら、必要経費を請求される新聞・テレビ  
 《北京オリンピックまでには大きく変わるか、これらの習慣》

### 35. サーズに見る中国・北京

#### (1) 03年6月記：SARS 大流行初期の認識

- ・何でも食べる広州人、猫やコウモリなどの野生動物から感染か
- ・地方の風土病が、一億人に上る流動人口に乗って大流行に
- ・違う組織に属する病院、相互に連携のない病院、全容をつかみにくい実体
- ・政府の発表は大本営発表、庶民はほとんど信じていない
- ・公式発表より先行する信憑性のある噂、噂を繰り返し否定する政府
- ・閉鎖されるレストラン、ホテル、劇場、即刻解雇される出稼ぎ臨時職員
- ・病院が感染の大きな要因に。「病気になっても病院には行くな」という忠告
- ・強権を発動して、抑え込まれるサーズと人権、大規模に行われる隔離管理
- ・一週間の突貫工事で郊外に作られる1000人規模のサーズ専用隔離病院
- ・いつまでもWHOに信頼されない中国の統計と発表内容
- ・これを契機に変わるか衛生観念、皆でつついて食べる中国式の食べ方  
 ところかまわず吐く痰、捨てるゴミ

#### (2) 03年10月記：SARS 終息後の認識

- 《胡錦濤新政権の適切な指導でSARSを抑え込んだ》という評価
- ・当初の不正確な情報のためのパニック、食料品の買溜めと買控え

マスコミを使った政府の宣伝により、買溜め・パニックは3～4日で収束

- ・連日の発病・死亡数の報道により情報を透明化  
政府要人の陣頭指揮と連日のマスコミキャンペーン《SARS との戦い》
- ・自宅引きこもりによる食料消費の減退  
観光地、ホテル、レストランでの消費の激減
- ・病気蔓延を防ぐための、農村と都市間の人と車の移動停止  
学校の休校、企業等の一時閉鎖、徹底した隔離管理措置  
安全性確保のための徹底した消毒の実施、なおも続く公共交通機関の消毒
- ・今冬の再発の混乱を防ぐためのインフルエンザ予防接種
- ・所かまわず痰を吐く人は確実に減っている。
- ・公共筷子(公筷)という取り箸は定着せず。

### 36. 《中国人度テスト》

あなたは、あなたが中国（北京）に住んでいるとして、主にどちらの行動をとると考えられますか。

番号の上か下か当てはまる方に○を付けてください。

1. 赤信号でも渡れる時にはどンドン渡るようにしている。
1. 赤信号が変わるまで待って渡るようにしている。
2. 値段を聞いて、高くなくても値引き交渉をしてしまう。
2. 市場で買い物をするときにも、ほとんど言い値で買ってしまう。
3. 中国は超大国であり、世界の中心だと思っている。
3. 日本はまだまだ先進国であり、中国には負けてないと思っている。
4. 出来そうでなくても、とりあえず「没問題(問題ない)」と言ってしまう。
4. 出来そうもないことは「出来ない」と断り、安請け合いしない。
5. 家の中は土足の方が便利なので、そのまま入っている。
5. 家の中に土足で入るのは汚いので、必ず履き替えている。
6. 賑やかなもの、大きな音が大好きだ。
6. 静かな温泉や落ち着けるといところに行きたいと思っている。
7. 料理はたくさん残るように、多めに注文する。
7. 料理はなるべく残らないように注文し、出た物は残らず食べる。
8. 造花は、季節や場所を選ばず、奇麗なので大好きだ。
8. 生花が好きで、造花はあまり使いたくない。
9. 「割り勘」なんてみっともない方法はしない。
9. 一緒に飲み食いしたときはできるだけ「割り勘」にする。
10. 中国でいつも食べ慣れた中華料理を食べたい。
10. せっかく中国にいるのだから、各地の珍しい料理を食べたい。
11. 「对不起(ご免なさい)」という言葉は自分が不利になるので使わない。
11. 何かあった時、すぐ「对不起(ご免なさい)」と言ってしまう。

- 1 2. 今うまくいかななくても、全て何とかかなると思う。
- 1 2. 何かうまくいかないと、すぐ暗くなってしまう。
- 1 3. 偽ブランドでも、見て良く使って良いものは良いものだ。
- 1 3. 全て本物でなければ買うつもりはない。
- 1 4. 法律や規則で縛られても必ず良い対策(抜け道)があるものだと考えている。
- 1 4. 法律や規則で決められたものは可能な限り守るようにしている。
- 1 5. 買ったものが壊れても仕方がないと思って諦める。
- 1 5. 買った物が壊れたら、買ったところに文句を言いに行く。
  
- 1 6. お金が貯まったら何かに投資したいと考えている。
- 1 6. 将来のことを考えて無駄使いせず、できるだけ貯金をする。
- 1 7. 食材は歯触り(こりこり、ぷりぷり等)が第1だと思っている。
- 1 7. 食材は鮮度が一番で、鮮度の落ちたものは買わない。
- 1 8. タクシーに1人で乗るときは、上席である助手席に必ず乗る。
- 1 8. 助手席は危ないので、1人の時は絶対助手席には乗らないようにしている。
- 1 9. 何かあった時、先ず大きな声で自分の主張を明確に示すようにしている。
- 1 9. 「はい」「いいえ」が判らない曖昧な返事をしてしまうことが多い。
- 2 0. 物を買うときは、先ず支払いが先と心得ている。
- 2 0. 物を買うときは後払いが常識であり、前払いは馴染めない。
  
- 2 1. 約束を当日にドタキャンされても別に驚かない。
- 2 1. 理由なくドタキャンされたら、次からはその人とは約束をしたくない。
- 2 2. 罰金とは「支払えばできるもの」と思っている。
- 2 2. 罰金があることは「やってはいけないこと」と理解している。
- 2 3. 自分のこと、身内のことを先ず第一に考えるようにしている。
- 2 3. 自分のことより、周りの人への迷惑や恩恵を先ず考える。
- 2 4. お祝い事はできれば派手にしたい。
- 2 4. 何事も世間並み、横並びが大切で、目立つことはあまりしない。
- 2 5. ルールを作ってもほとんど守られないので、自主性に任せる。
- 2 5. 人が集まれば何かルールが必要なので、皆が守れるルールを作る。

**註** 上に付けた○の数に4を掛けると中国人度%、下に付けた○の数に4を掛けると日本人度%です。自分の中国人度、日本人度を試してみてください。

このアンケートは、典型的な中国人、日本人を想像して作ったものであり、これに当てはまらない人も当然双方で見られる。たくさんの人で実施し、ある程度納得できるものであると考えている。

ちなみに、中国で3年暮らした石谷孝佑の中国人度は68%(日本人度32%)、一緒に3年暮らした家内の中国人度は12%(日本人度88%)である。

### 37. 《中・日・欧にみる組織の行動様式のタイプ》

企業や諸団体、プロジェクトチームやグループなどの様々な集団は、仕事の内容や人の性格、国民性などにより、組織的な行動様式に特徴がある。特にリーダーの指導力や構成員の仕事のやり方などにそれぞれ特徴があり、組織としての対応が大きく異なっている。集団の採る行動様式を以下に説明する5つのタイプに分類してみた。

中国は上意下達の国と見られているので、猿山タイプが多いと考えていた。果たしてどうだったのでしょうか。

また、あなたの属する組織は、どのタイプになるのでしょうか。考えてみて下さい。

#### 1. 猿山タイプ

ボスの指示、社長の命令一下、その指示に従って動く集団である。ワンマン社長の率いる中小企業などはこのタイプである。カリスマリーダー、ワンマンリーダーと従順な部下で構成される集団で、ボスが有能であれば大きく成功し、ボスが倒れば構成員も路頭に迷うことが多い運命共同体である。

#### 2. 蟻・蜂社会タイプ

組織の構成員が専門的な役割と機能分担を決めて、組織で対応する集団である。欧米のプロジェクトチームはこのタイプが多い。新しい卵（アイデア）を産むのは女王としてのリーダーの責任であり、部下は役割を分担して子供（仕事）を育てる。プロジェクトでは、アイデアを生むのは頭脳派リーダーの重要な役割であり、卵を生めなくなったリーダーは交代させられる。異なる役割を分担するということでは、高い山に登る登山隊もこのタイプである。

#### 3. タスクフォースタイプ

もともとは軍隊用語であり、何かをするために特別に組織され、訓練された集団を言う。海兵隊やテロ対策特殊部隊などが本来の意味であるが、特別の任務に対して同等の優れた能力を持った構成員が分担を決めて仕事を行う集団をさす。専門の調査団・委員会や、設計事務所、警備会社などはこの例である。目的を良く理解した指導力のあるリーダーと良く訓練された能力のある部下で構成される。

#### 4. キラ星タイプ

一芸に秀でた人を抱え、その人達の能力に強く依存する集団を言う。シンクタンクや芸能プロダクションなどがこの例である。個性的な構成員が多く、優れた能力を発揮できる反面、組織としてまとまりにくく、「放し飼い」状態になりやすい。卓越した個人の貢献で、未熟な部下も人材として育つことができる。世話役的リーダーと一芸に秀でた部下で構成される。

#### 5. 家族タイプ

仲良く和気あいあいとした集団である。誰ともなく「あうん」の呼吸で仕事などに対応することが多い。仕事が専門分化していないことが多く、ややもすると素人集団になりやすい。酒好きのリーダーや世話女房役などのいる集団で、アットホームな円満リーダーとその家族という感じの構成員からなる。

ちなみに、

- ①日本の研究機関では、4. のキラ星を期待する人が多いが、一芸に秀でていない人も一緒に居ることができるという先進的でない集団も多く、5. の要素も大いにある。かつては、研究所や大学で1. の猿山的な大ボスのいる組織が多く、研究において「一将になって万骨枯れる」状況もあったが、今では競争的研究資金が多くなり、キラ星型に変化している。

日本の組織はそもそも仕事中心の縦社会であり、集団を重んじるので、家族タイプになりやすい要素を持っており、研究所や大学もまだ生活費、研究費がある程度保証されていることから、競争のない世界に安住することもでき、一芸に秀でない人も存在が許される。競争的資金が今以上多くなった場合には、日本の公的研究所や大学は、どのようなキラ星型に変化するであろうか。

- ②欧米の研究機関は、2. の蟻・蜂社会型が多く、活躍している研究チームは、リーダーのアイデア能力と予算獲得能力に大きく依存している場合が多い。従って、卵の生めなくなったリーダーは交代させられる運命にある。チーム員は契約によって専門的に役割分担しているので、実質的な指導者補佐は後継者でもあり、活動の中で後継者も育成される。有能な後継者が現れないところは研究集団としては消滅する運命にある。

優れたリーダーのいる優秀なチーム員は、腕を磨き、タマゴの産み方も教わり、やがて女王として一本立ちする。優秀なリーダーのいる普通のチーム員は、リーダーの頭脳が長続きすることを祈り、契約の仕事を忠実にこなす。

- ③中国の研究機関は、かつては親方「五星紅旗」で皆が安住していたが、現在ほとんどが競争的研究資金になっているので、4. のキラ星型が多くなっている。多くの予算を獲得しているボスの中には猿山タイプもある。同じ研究室内でも予算を獲得すれば一国一城の主人になれるので、研究者の独立性が非常に強く、成果を出して予算を獲得し、キラ星になる。リーダーになれば自由度も大きくなるので、一人一人が輝くキラ星になるべく不断の努力をしており、お互いに激しく競争している。

指導力のあるリーダー、研究能力のあるチームは予算をどんどん獲得し、優秀な人がたくさん集まり、大きな人脈集団を形成する。優秀な集団ではたくさんの成果が上がり、実績も付き、当然予算が益々多く来るようになり、良い循環に入る。大きな集団のリーダーは予算だけでなく、人事権も持つようになり、猿山的な傾向がでてくる。

一方、中国では、組織としての研究所は、所長が絶対的な人事権と予算権をもっており、典型的な上意下達の猿山タイプである。